

HiME-Mania

姫マニア

画・尾山泰永

vol.45

リアル女体vsアキバ君

紫色雁行

女子校に男一人!?

さかくちしずか

お嬢様のHな御奉仕

桂木たくみ

ヴァージンあげちゃう

栗本重治

イケない初体験

尾山泰永

みはねに全部出して♡

カマキリ

雪奈

YUKINA

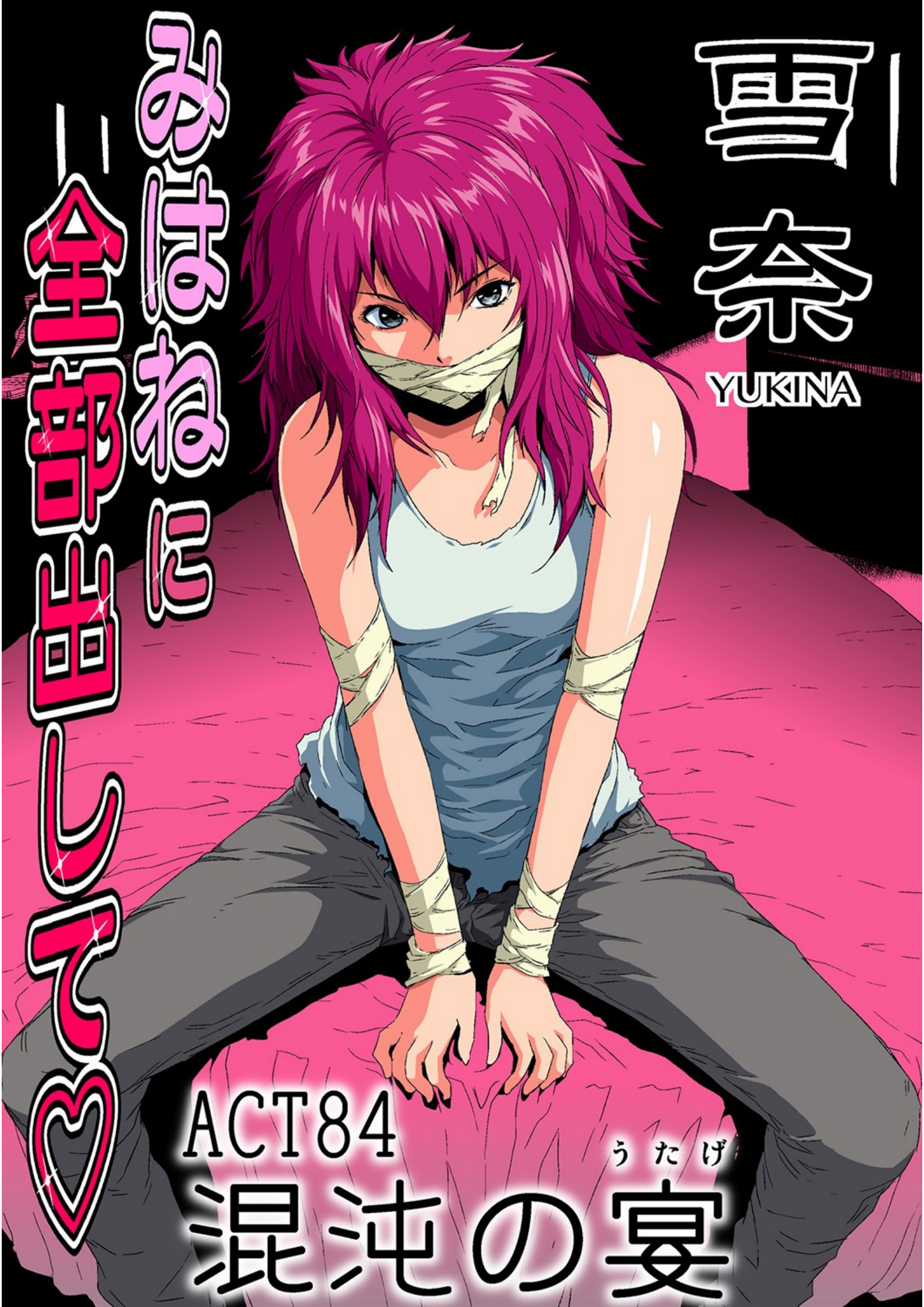
おちねは

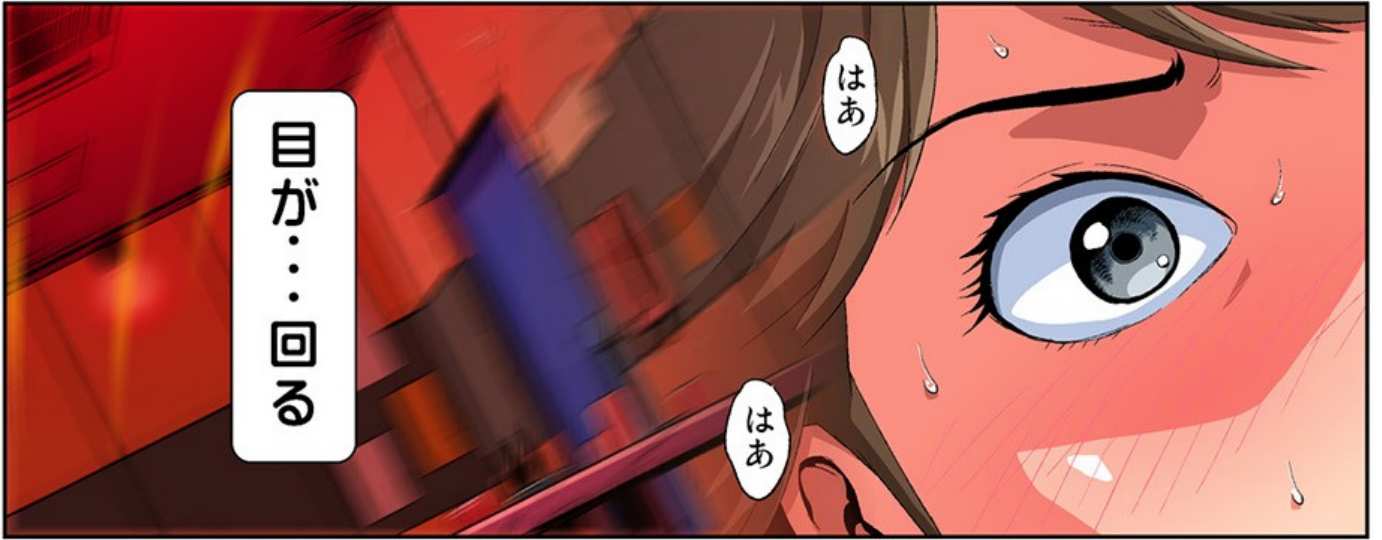
全巻完結

ACT84

混沌の宴

うたげ





目が・・・回る

はあ

はあ



・・・体が熱い

はあ

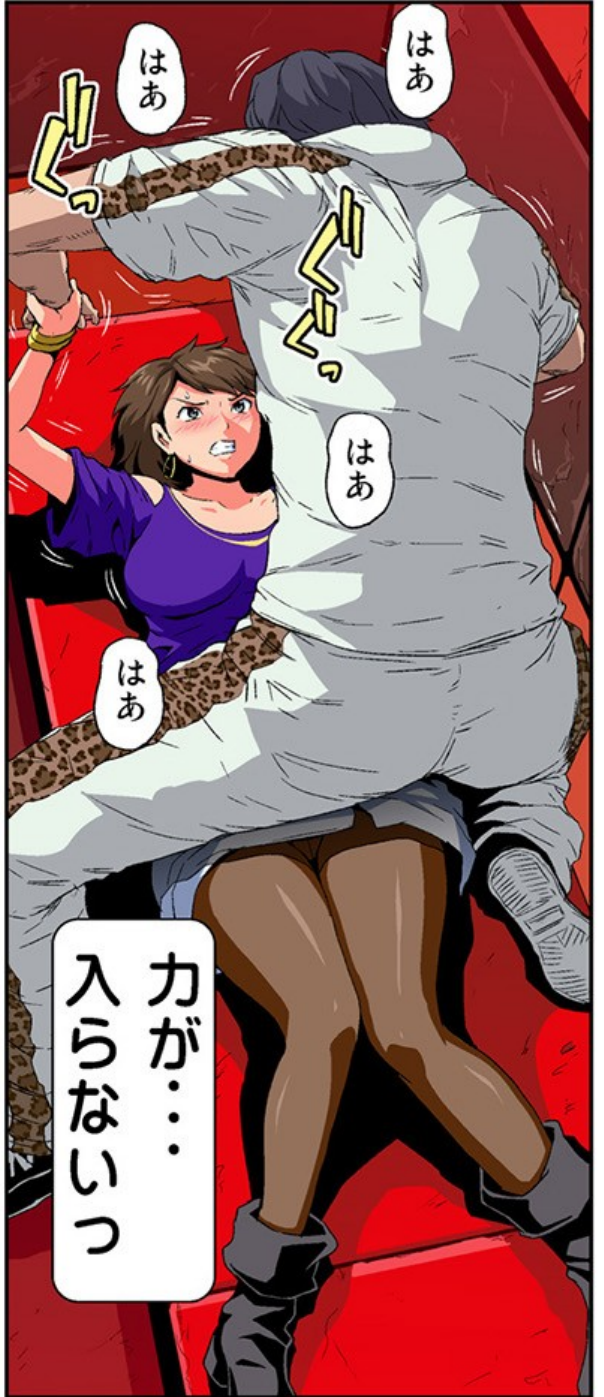
はあ

はあ

あ♡

あ♡

ああ♡



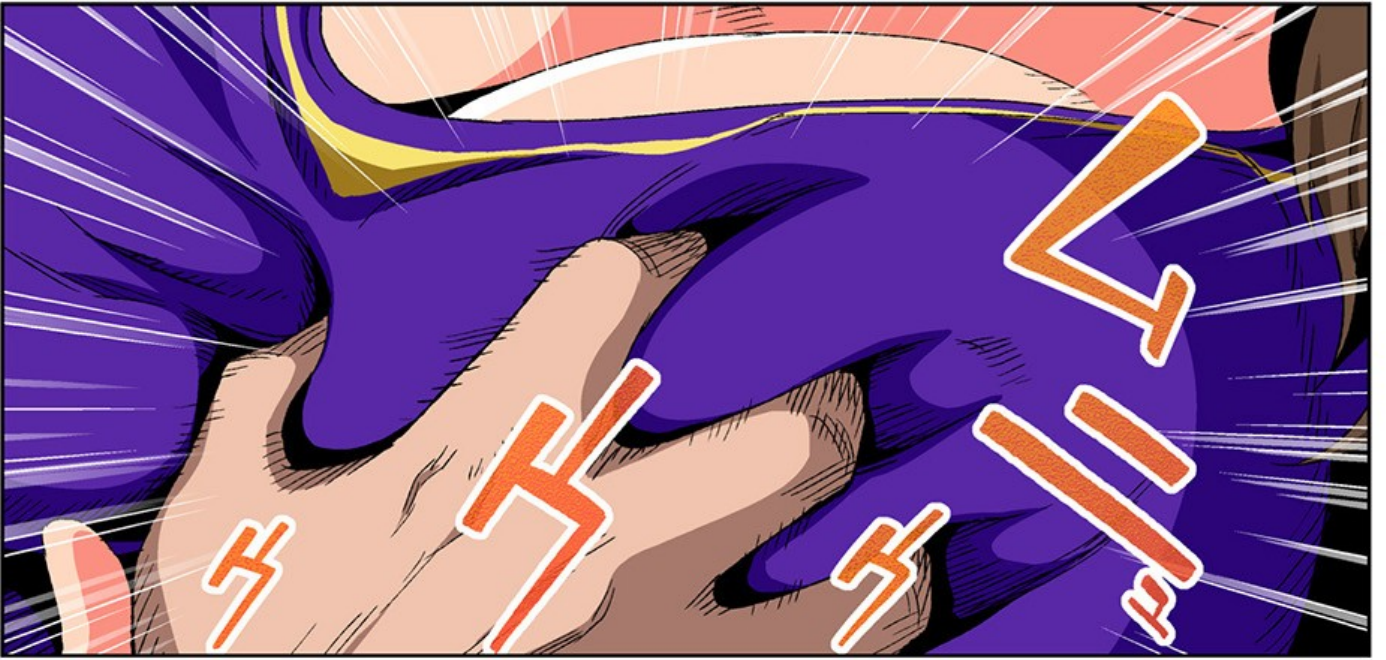
はあ

はあ

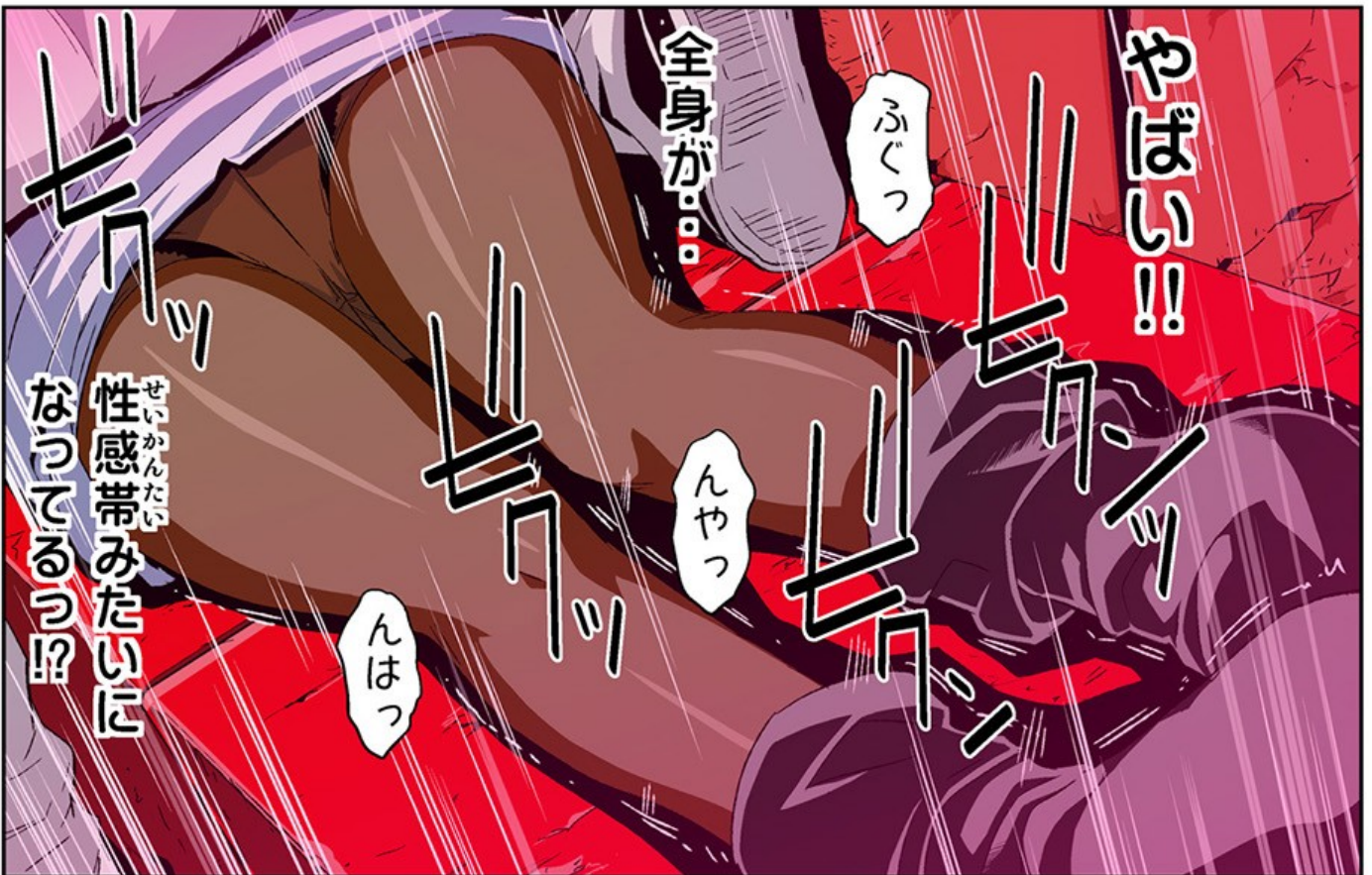
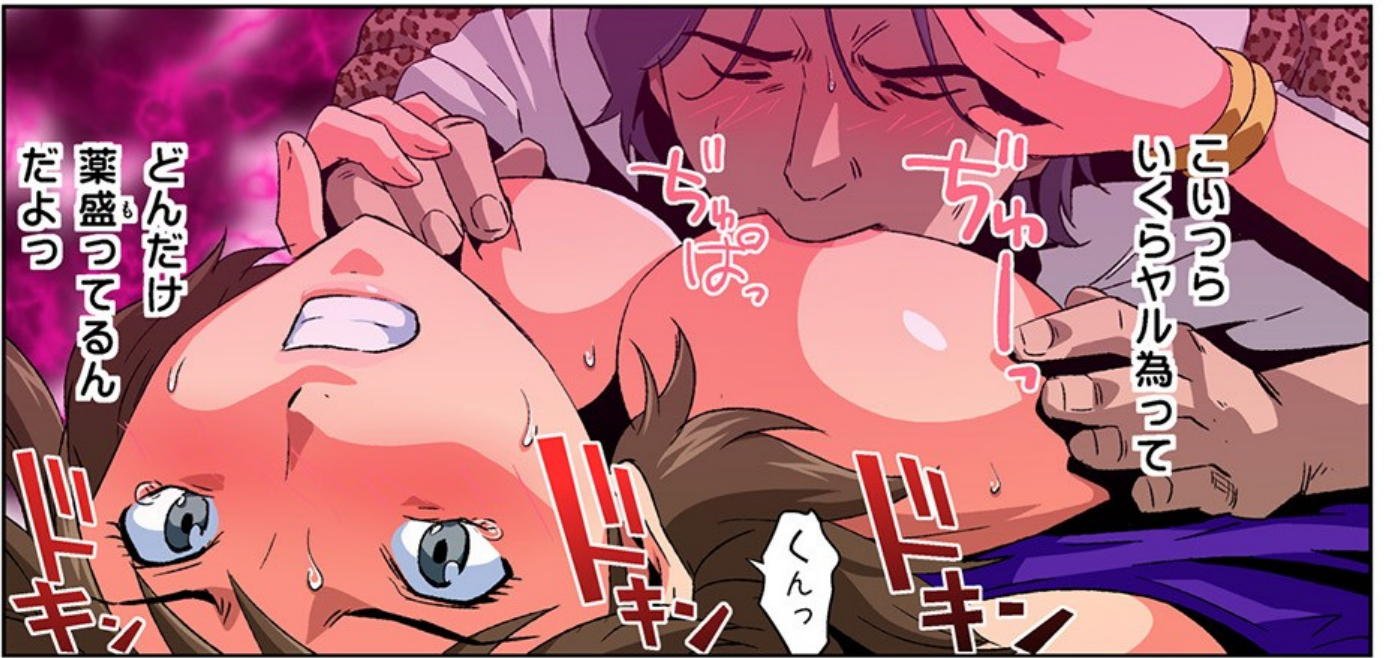
はあ

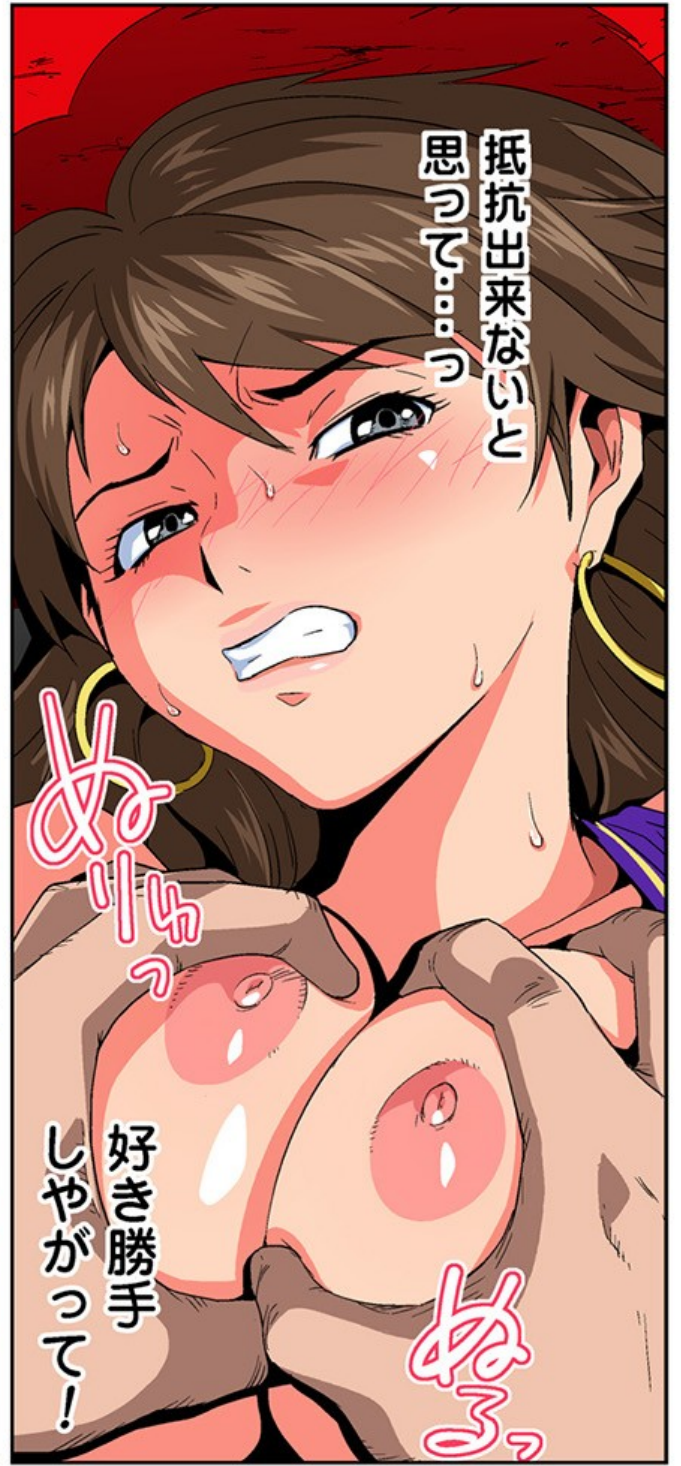
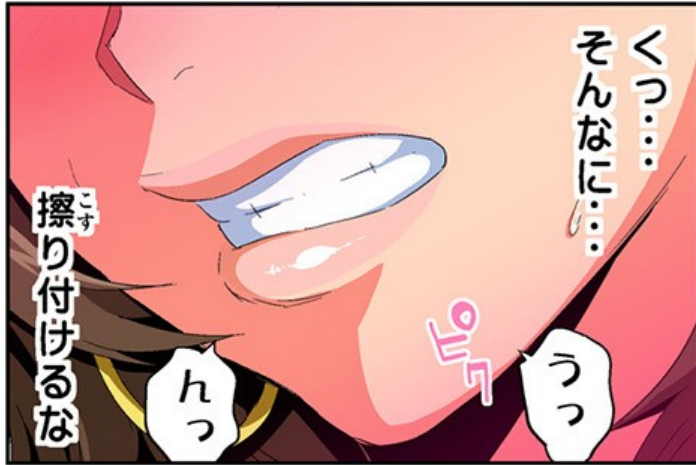
はあ

力が・・・
入らないっ



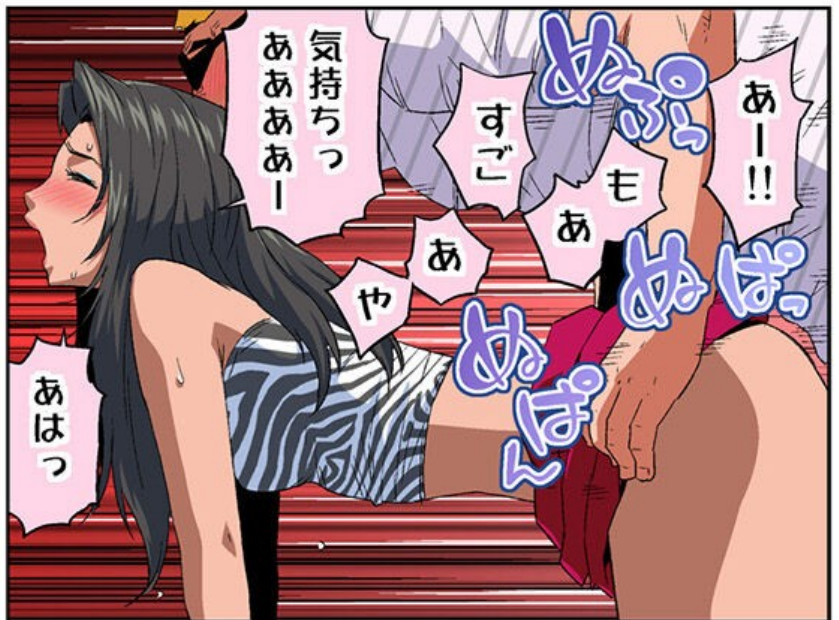
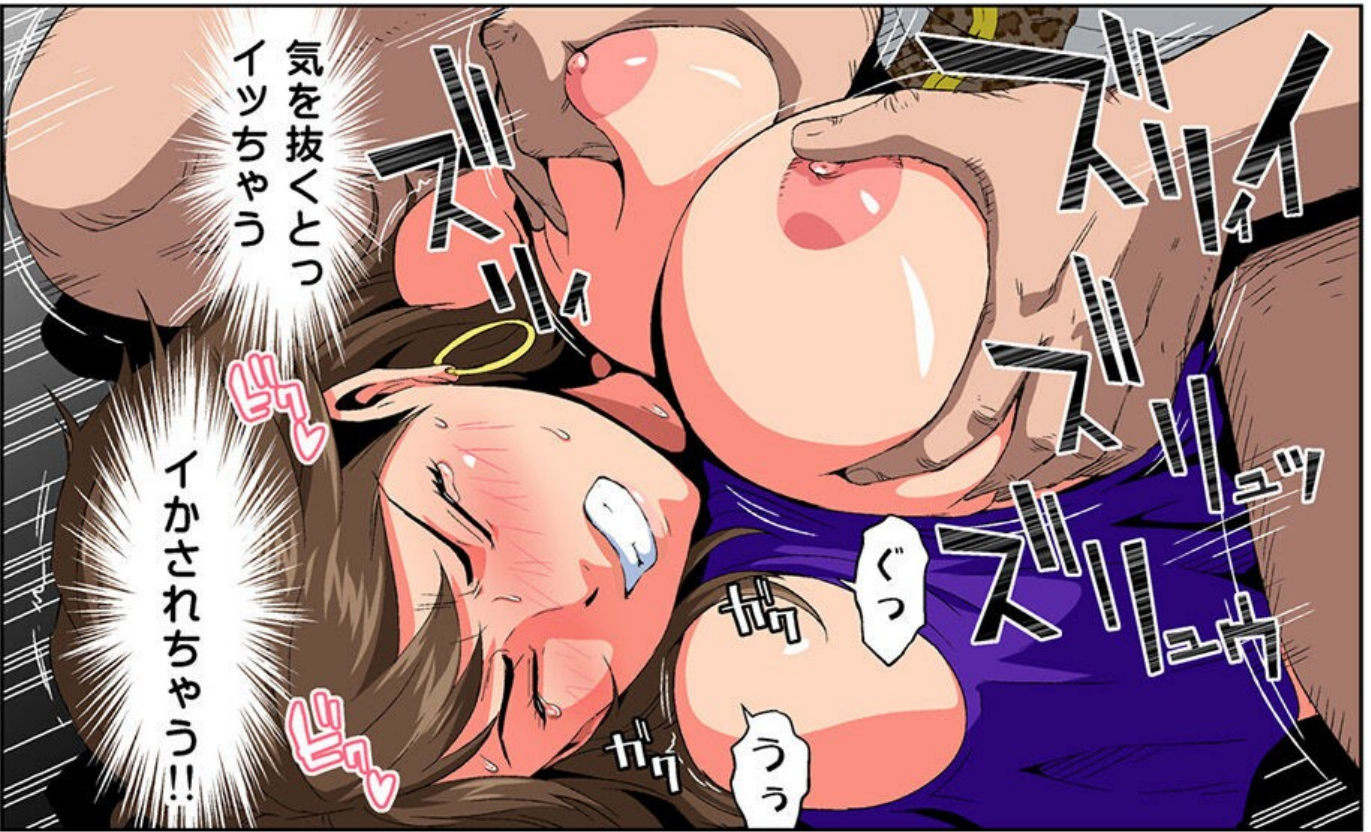
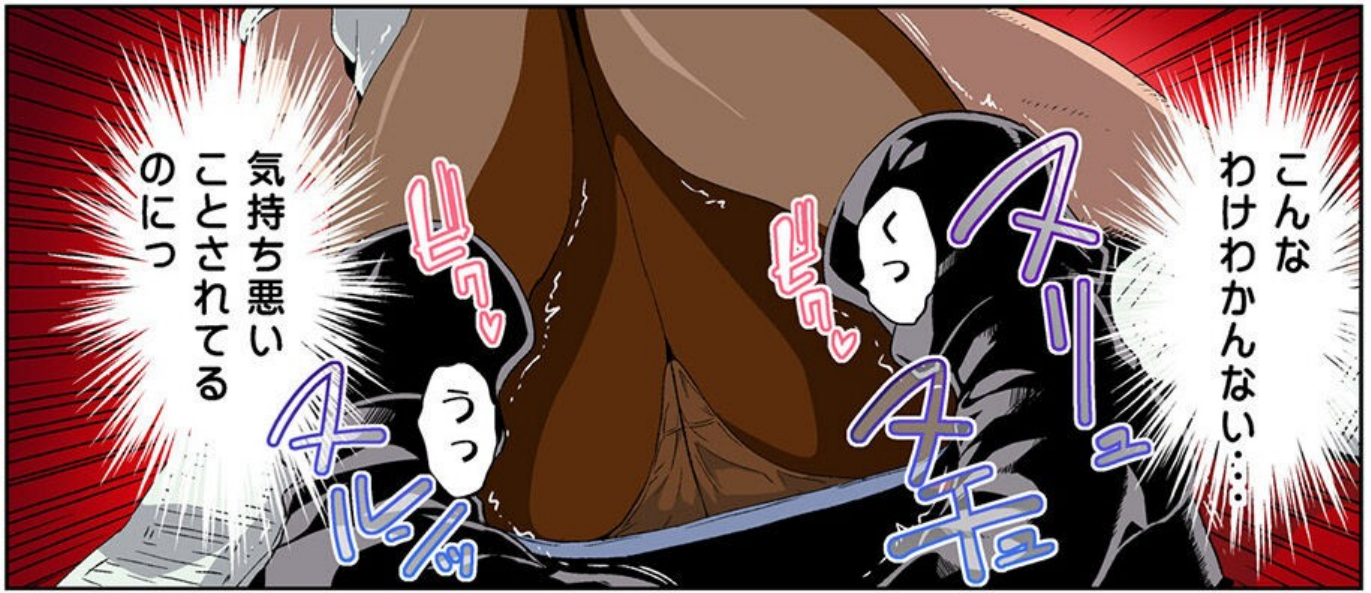


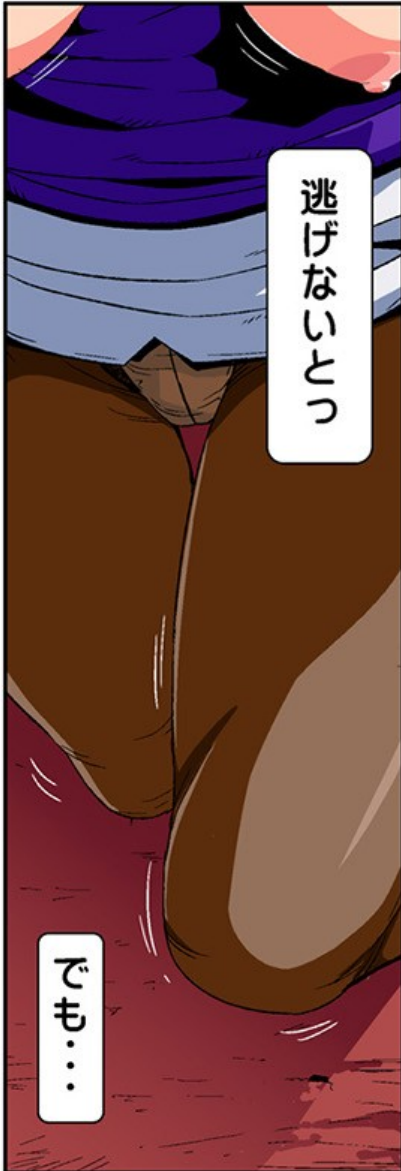




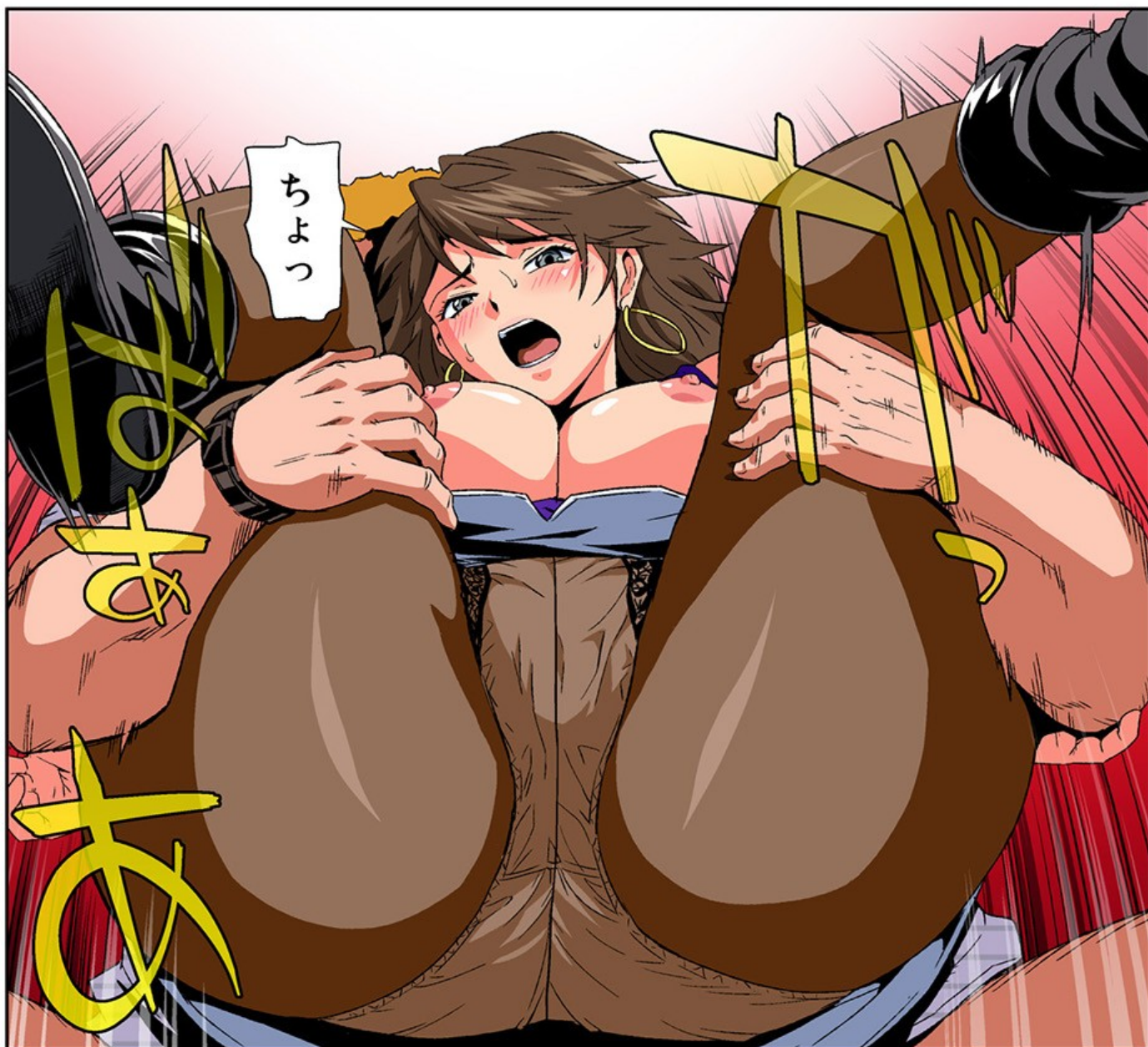
好き勝手
しやがって!













ああ。。。
もうダメだ。。。



こんな奴らと
つるむんじゃ
なかった
嫌なことを忘れる
ために酔って
ただ気持ちいい
からって。。。



すっげ
たまんね

はー
はー

ガキがいるってのに
綺麗なじゃねえかよ

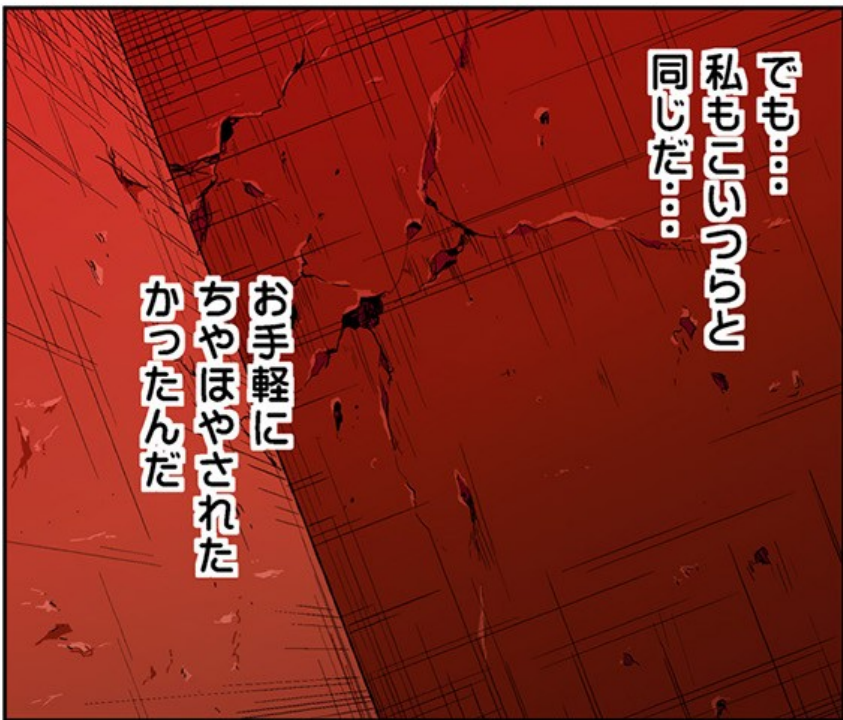
いや。。。

次俺にも入れ
させて下さいね
涼花さん



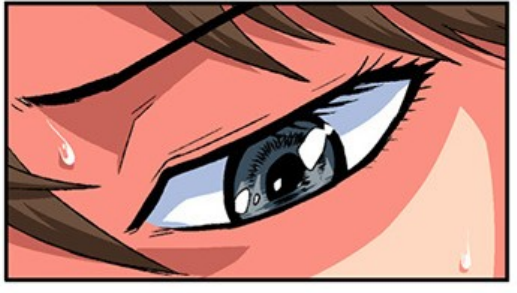
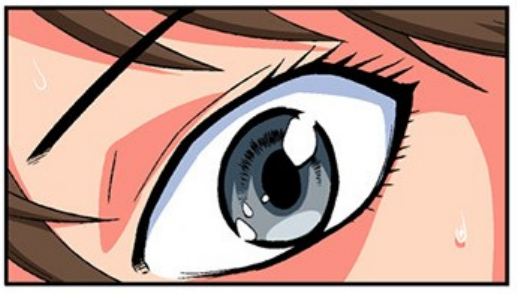
満たされる
わけがないのに

誰かも
わかんない
奴ら同士で
抱き合って
。。。



でも。。。
私もこのくらいと
同じだ。。。

お手軽に
ちやほやされた
かったんだ

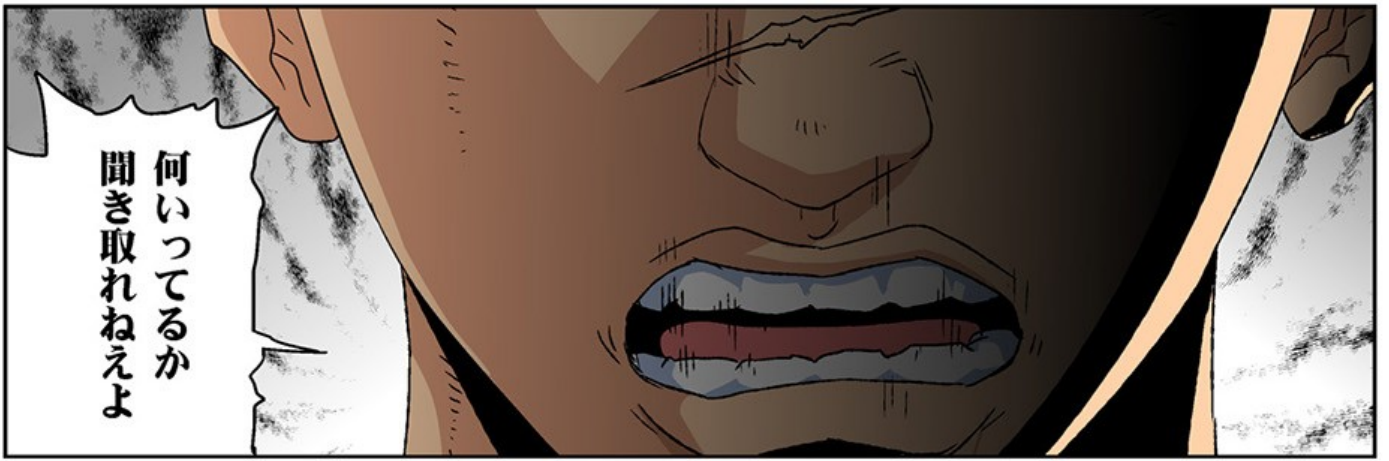


必要とされない
現実から
逃げ出したかったんだっ

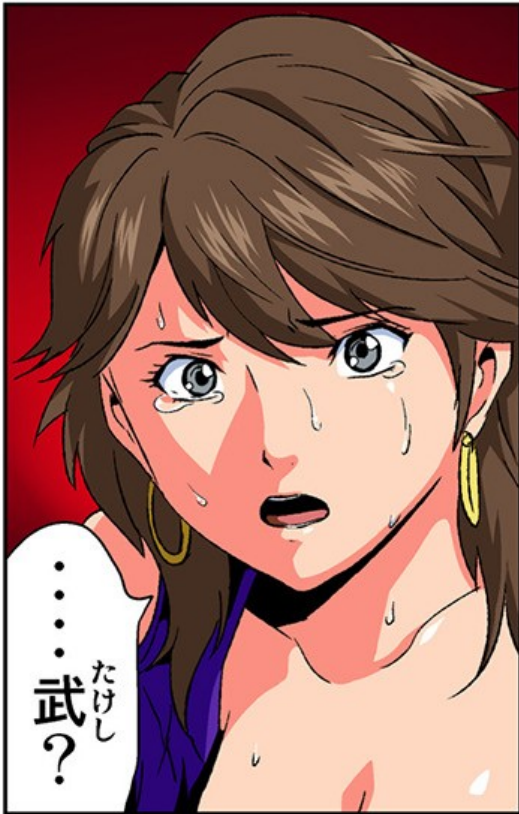












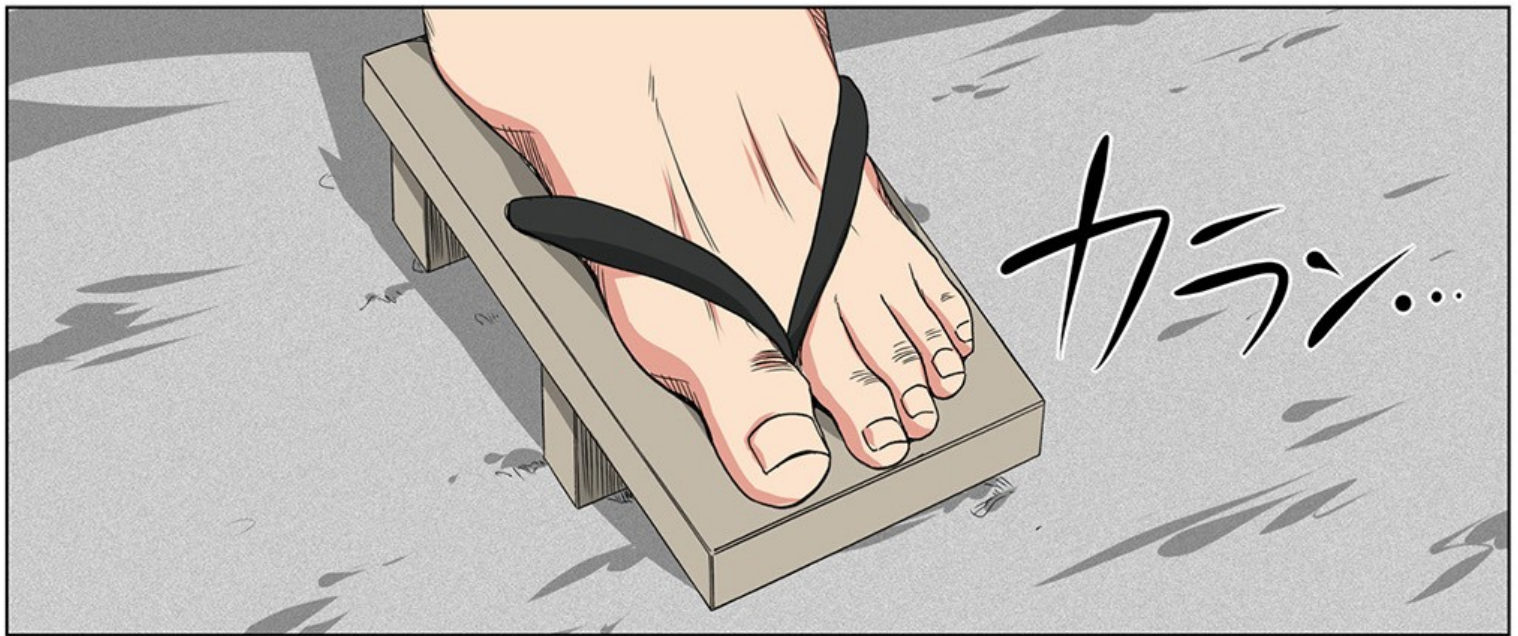


アル女体
VS
アキバ君

紫色雁行

ししよくがんこう

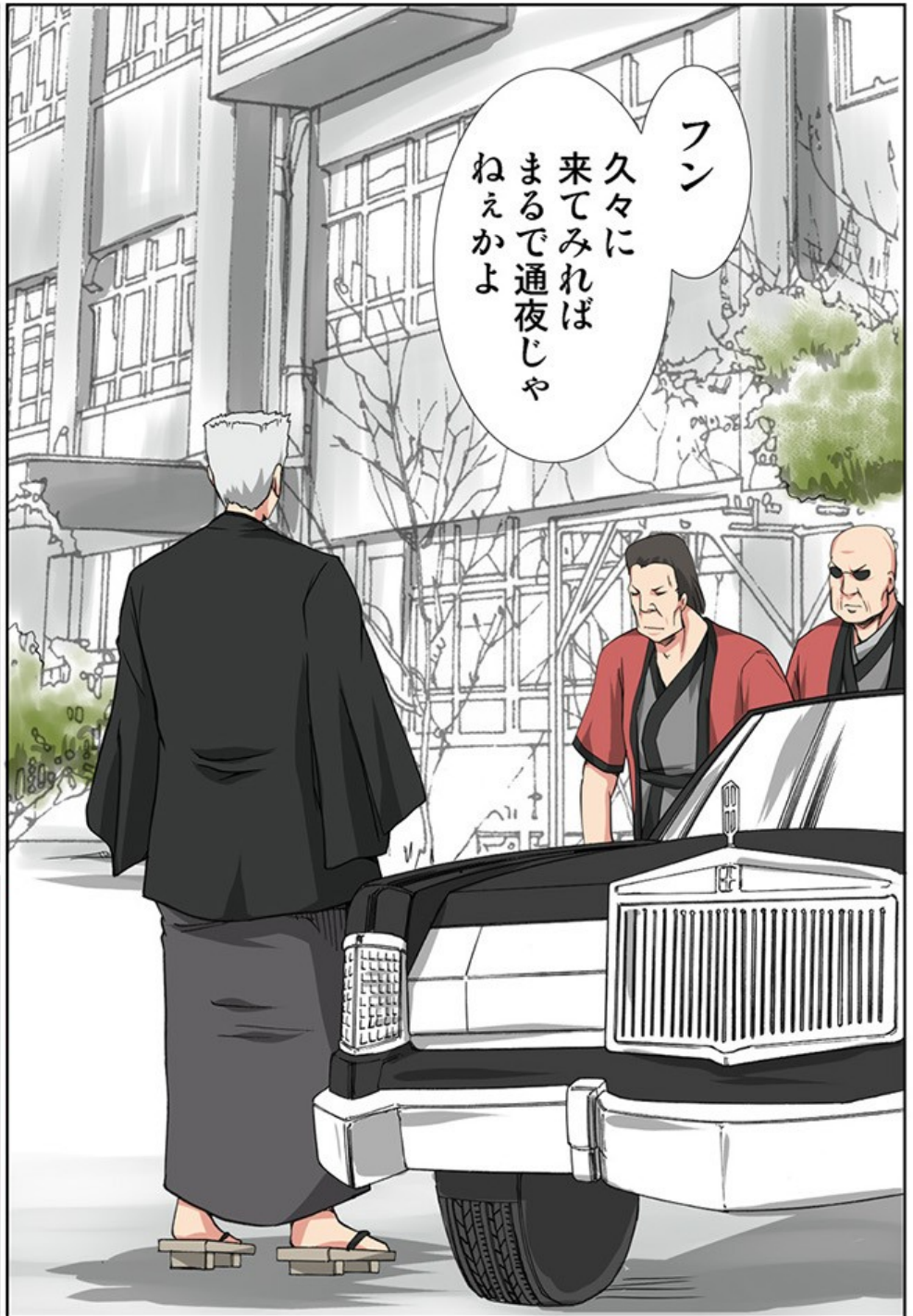
第19話



百合子め
何かあったら
すぐに呼べと
言っておいたろうに



まったく



フン
久々に
来てみれば
まるで通夜じゃ
ねえかよ





ほら
ウチの学園って
創設者が実は
極道って話でしょ？



その人
鬼瓦組の
現親分が生涯で
唯一かなわなかった
伝説の極道
なんだとかで

〜！



細かい所は
ちよこちよこ
違っけど
やっぱり
噂になって
るんだな！



鬼瓦清虎が
この学校に転校までして
暴れまくってんのも

跡目争いに
ハクをつけるのが
目的じゃないかってさ

清虎はホント
頭がいいから

ボクと無闇に
跡目争いなんかして
組の大勢を
揺るがすような
バカな真似はしない

どっちかかっていうと
この学園に来た
目的は

学園の創設者
黒神鉄五郎に
興味があったから…？

若い頃から
オヤジのライバルで
古い伝統を重んじる
仁義に厚い極道

ウチの組は
隠れた信奉者がいるので
話も聞くとさうだ

清虎のことだから
その人心掌握術に
関心を持ったのかも…

ブツ
ブツ

?







苦勞して
アタシを育てて
くれた母さんが
できなかった

あつたかい
家庭を築く
こと

それが
アタシの夢
なんだ



それはたぶん
きつと——



ねあたし
アンタのことが
好き！
理由は
わかんないけど
すごく
惹かれるの！！



アンタとなら
上手くできる
かも！



アキバって
M男っぽくて
簡単に主導権
握れそうだから？

な何だよ
その不純な
動機は
——！！



それとも
アタシに調教
さ・れ・る？

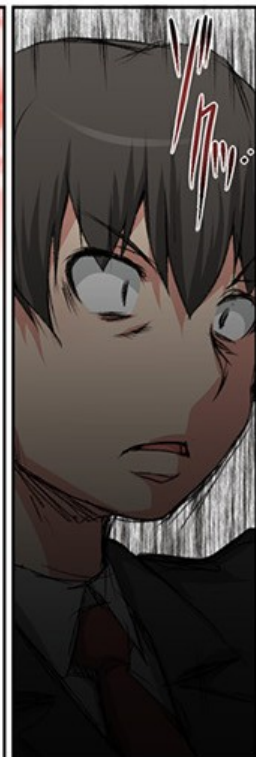
ハシ
ハシ



たとえばさ…
ただいま
お帰りなさい♡
アナタ♡

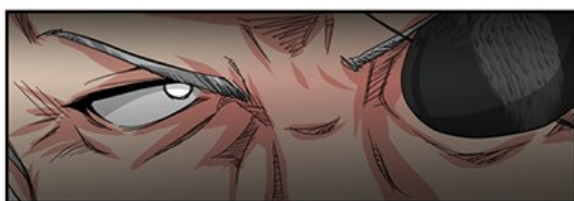


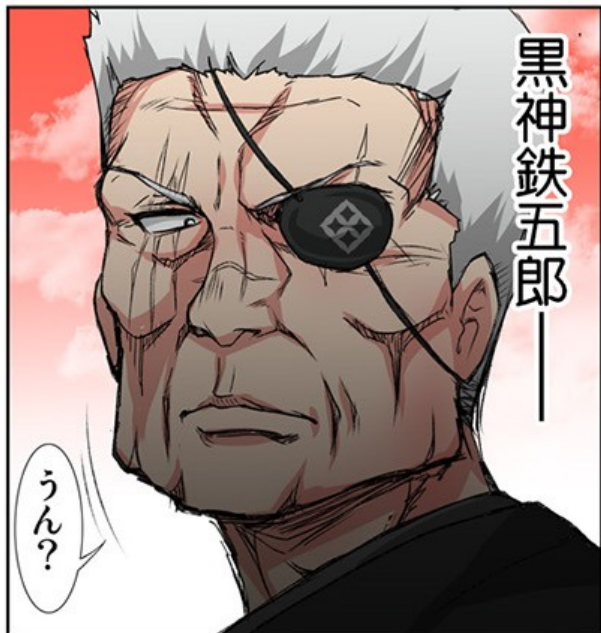
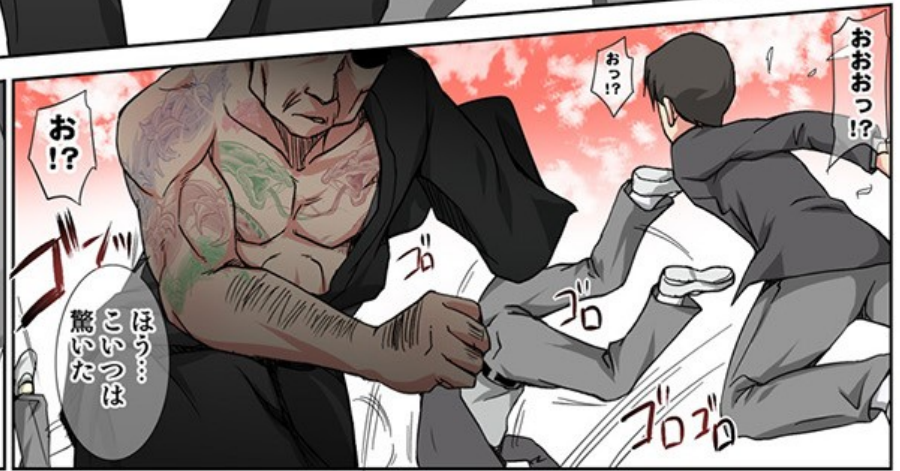
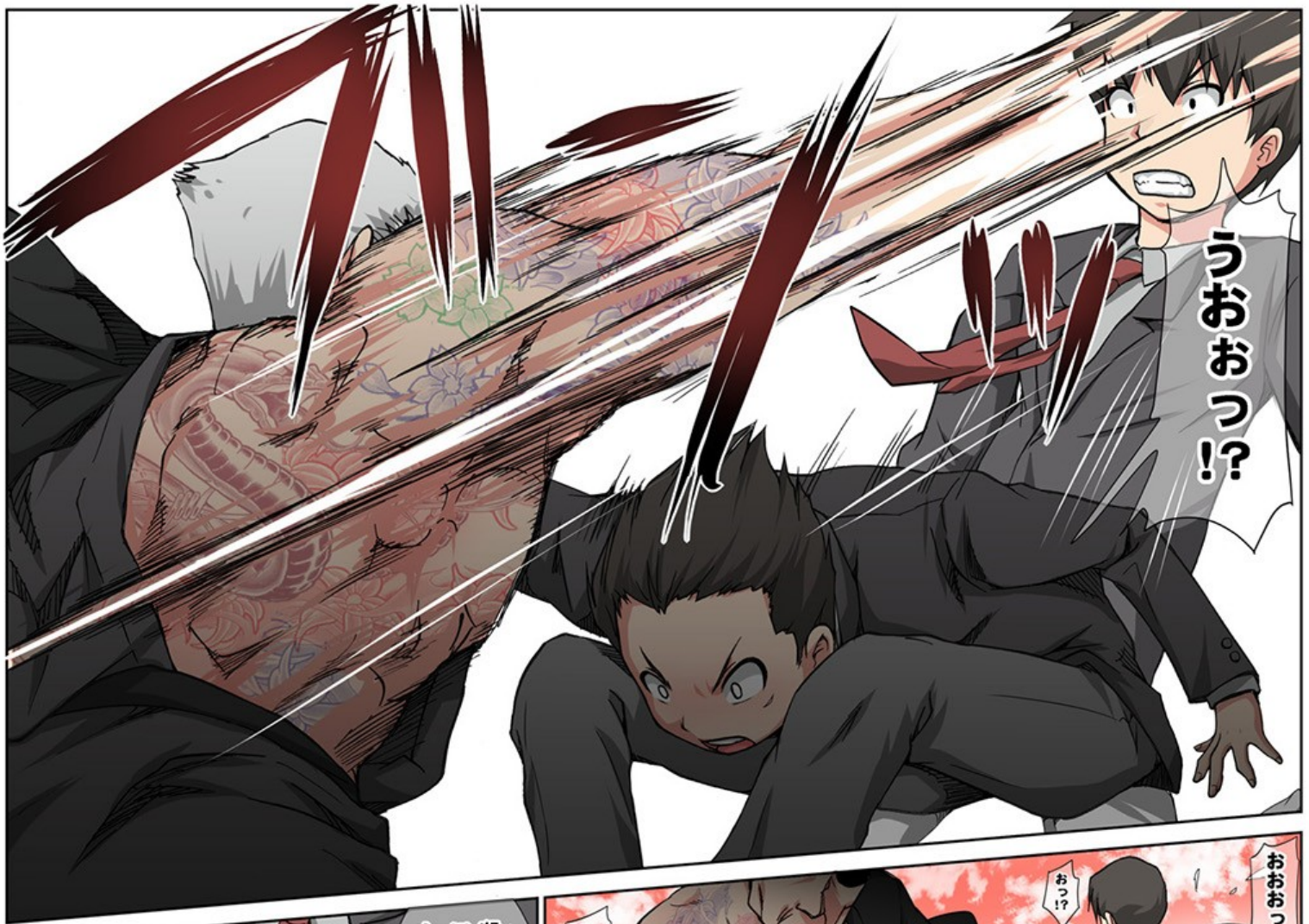
おフロ沸いてる
わよ？
先に
ゴハンにする？



アタシ
結婚するの
なら
扱いやすそうな
M男の旦那サマが
理想だなあ♡
そして毎晩
縛ったりして
思いつき
調教する
の♡
なんなんだ
その設定は？









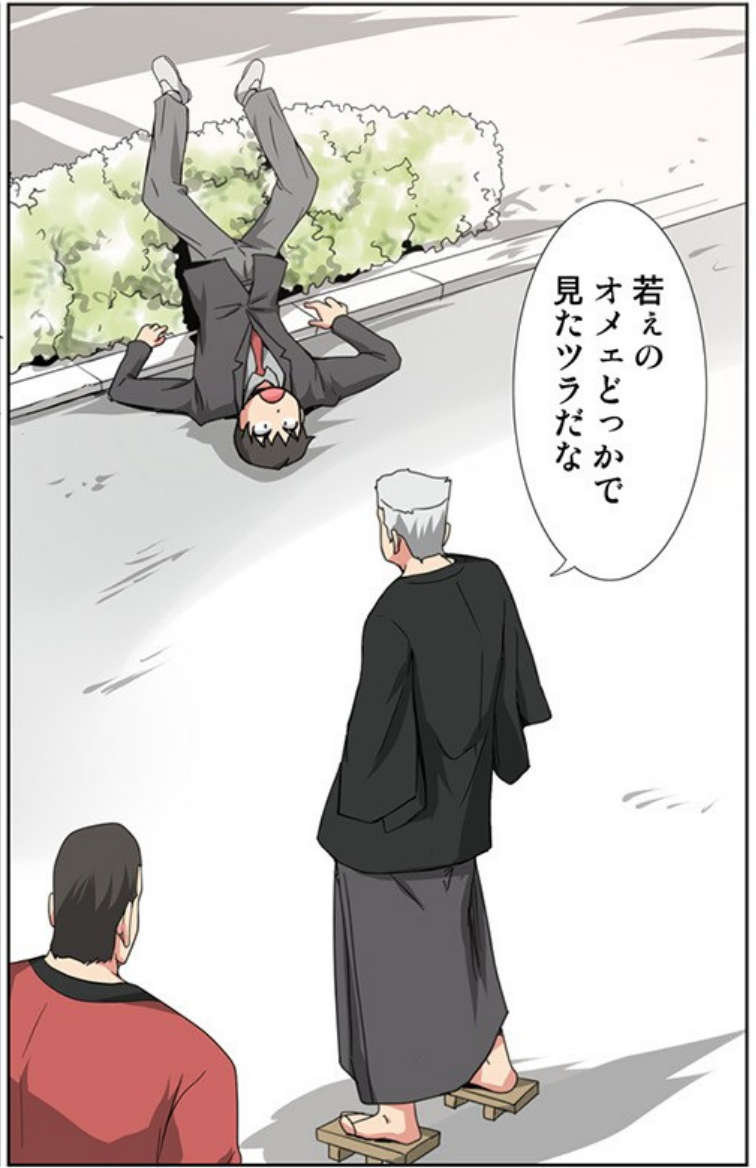
アキバ君 VS アハ女体

第20話

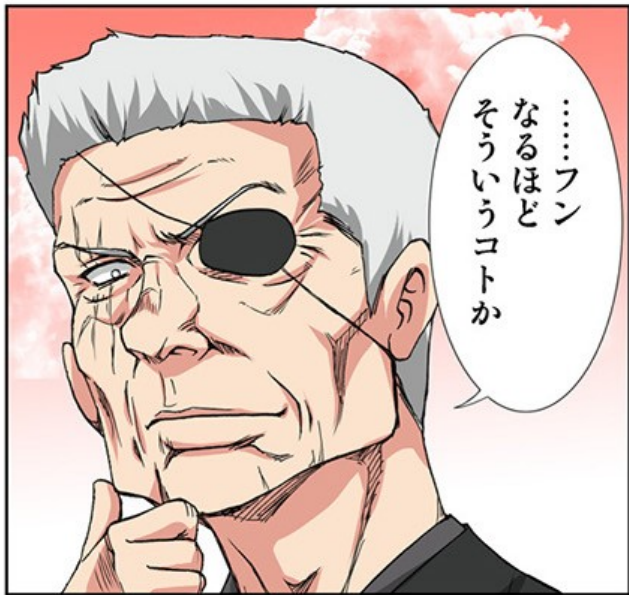
紫色雁行



しかも
俺が誰だか
知ってるふうな
その表情



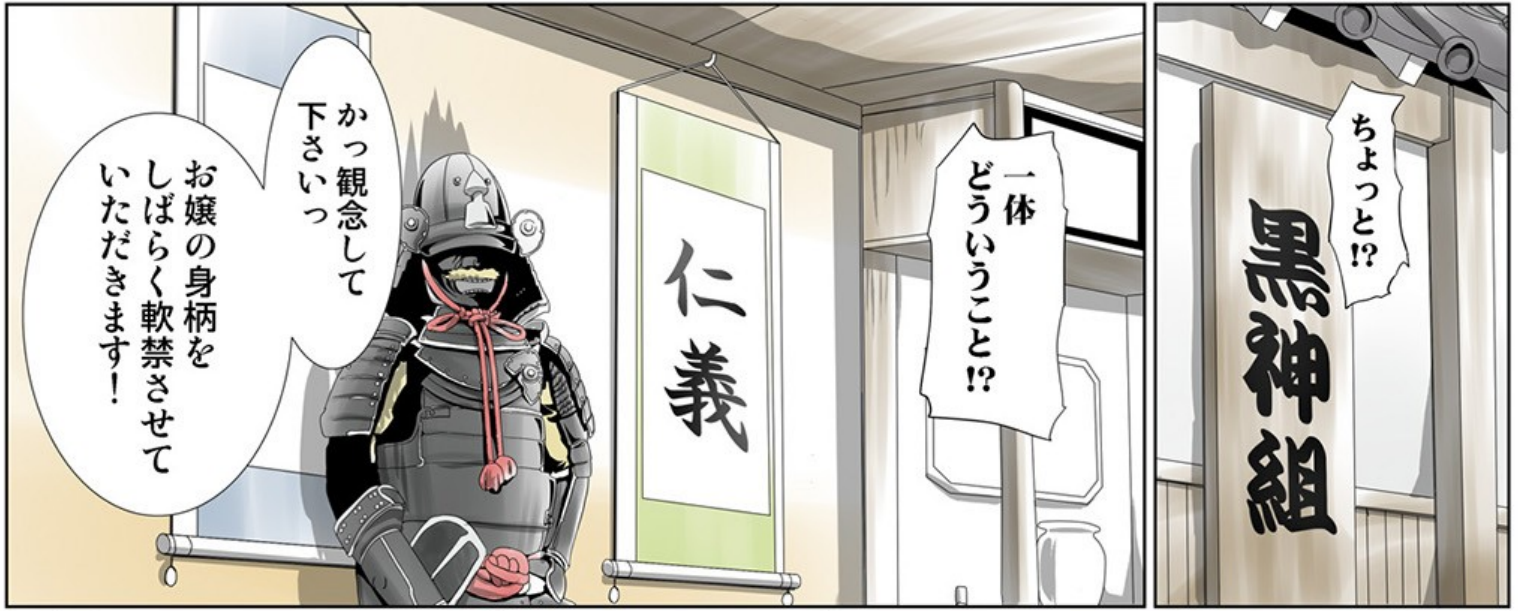
若えの
オメエどつかで
見たツラだな

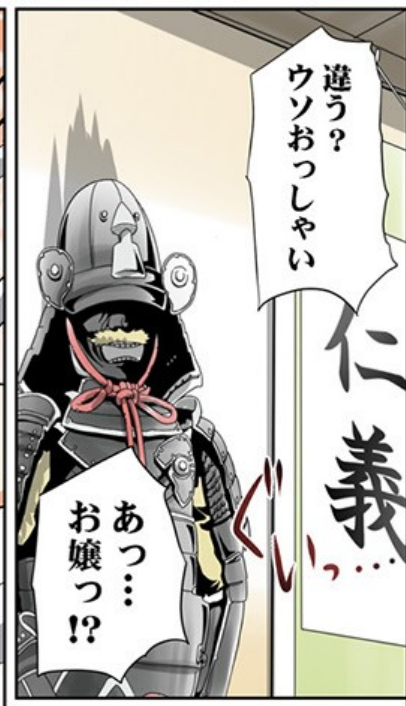


……フン
なるほど
そういうコトか



?







でもまさか
あなたみたいな
弱気な小娘まで
極道の盃を受ける
だなんて

当時は誰も
思っただけ
いなかったわよね



おお嬢っ
…何を!?

キヨ
あなたの家系は
代々ウチに仕えて
きてくれた



学生の頃から
ずっと……

ホントはずっと
私のことが
好きだったん
でしょう?



私以外は……

キヨ……
あなた



でも私
あなたの視線には
気づいていたのよ？



引っ込み思案の
あなたは



学生の頃から
幹部候補として
期待されていた私を
憧れの眼差しで
とりまく女学生は
大勢いたけど



その輪の中にすら
入れてなかつた
わよね



あなたの瞳は
他の誰よりも
艶っぽく
潤んでいたん
ですもの



この世界に入ったのも
私の傍に
いたかったから…

そうなんでしょう？

くい



ややめて
下さい
お嬢っ

わ私に
手を出したら
とんでもないことに
なりますよ?



ちゅっ♡

んっ

んっ!!



そんなあなたが
私よりお爺様に
従うなんて
許せないわ

たっぶり
お仕置きして
あげないとね



えっ…

そうなの?
別に
かまわない
けど?



女の子同士で
愛し合ったって
いいじゃない

ひゃうう

はっ?

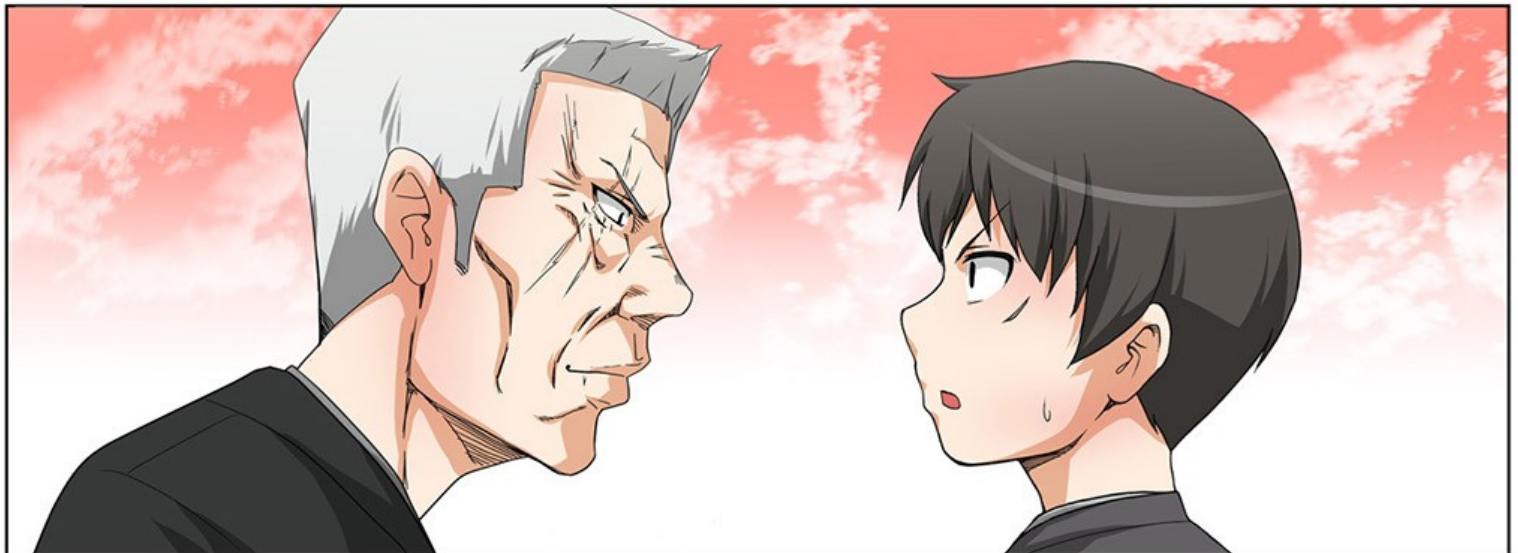
それに
ここは…ホラ
もうこんなになっ♡

欲しいでしょ?
私のことが?

だったら









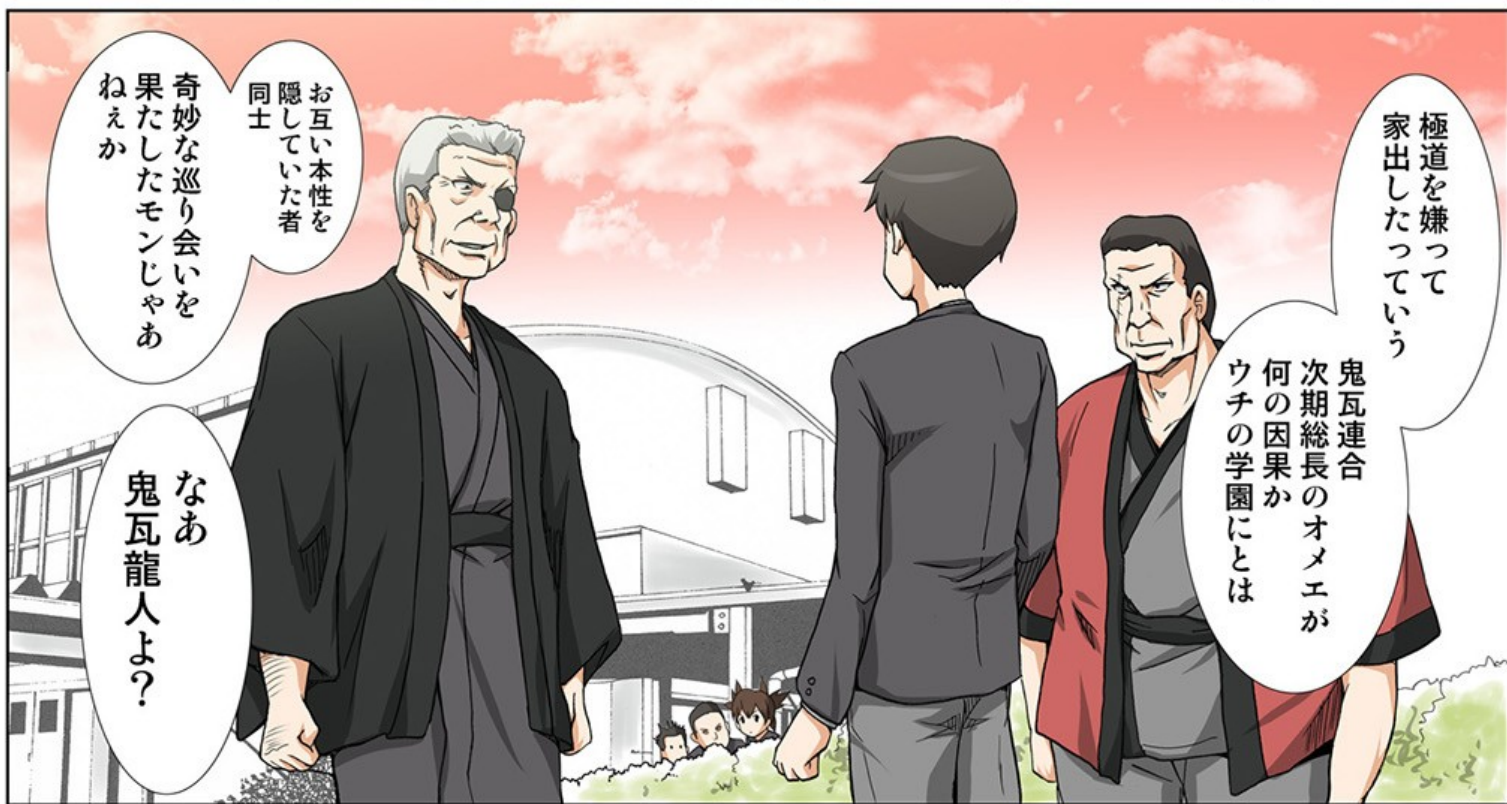
何か話してる

しっ
静かに

つか
なんでヤクザが
ウチの学校に
……



アキバー



極道を嫌って
家出したっていう

鬼瓦連合
次期総長のオメエが
何の因果か
ウチの学園にとは

お互い本性を
隠していた者
同士

奇妙な巡り会いを
果たしたモンじゃあ
ねえか

なあ
鬼瓦龍人よ?



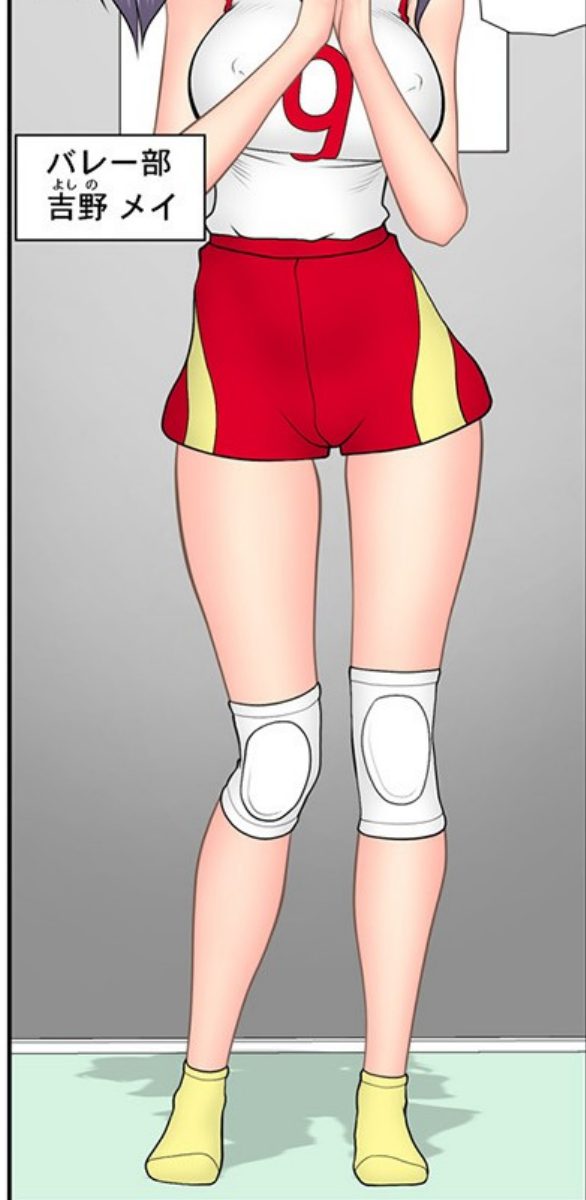
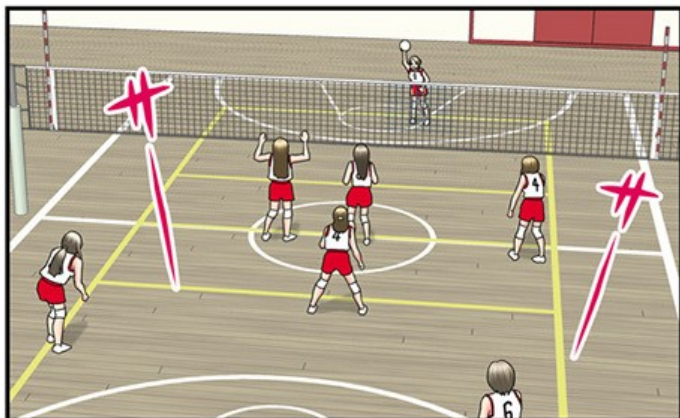
鬼瓦……の
次期総長……!?



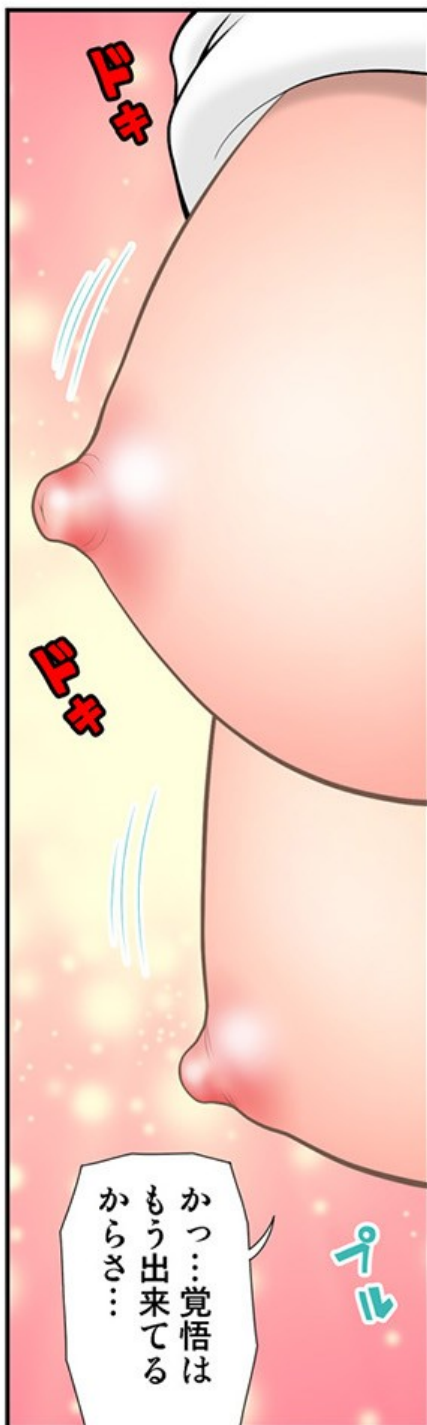
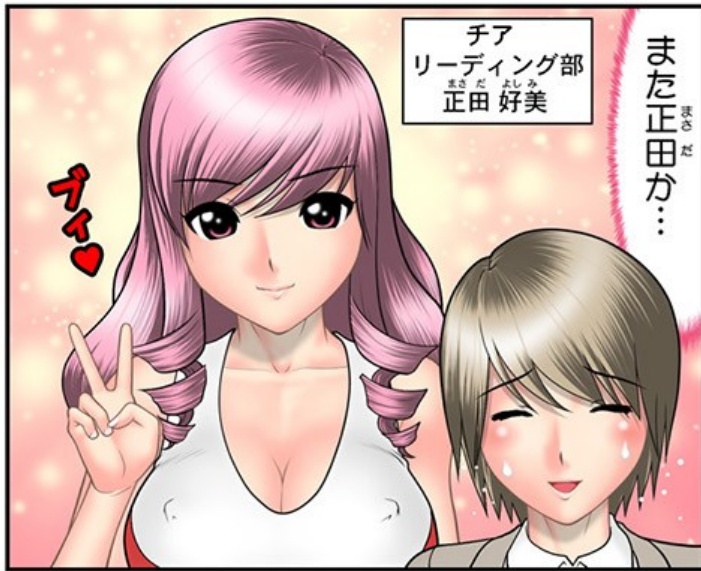
ゴ
ア
ー
ニ
ン
グ
あ
げ
ち
ゃ
り
せ
り
り

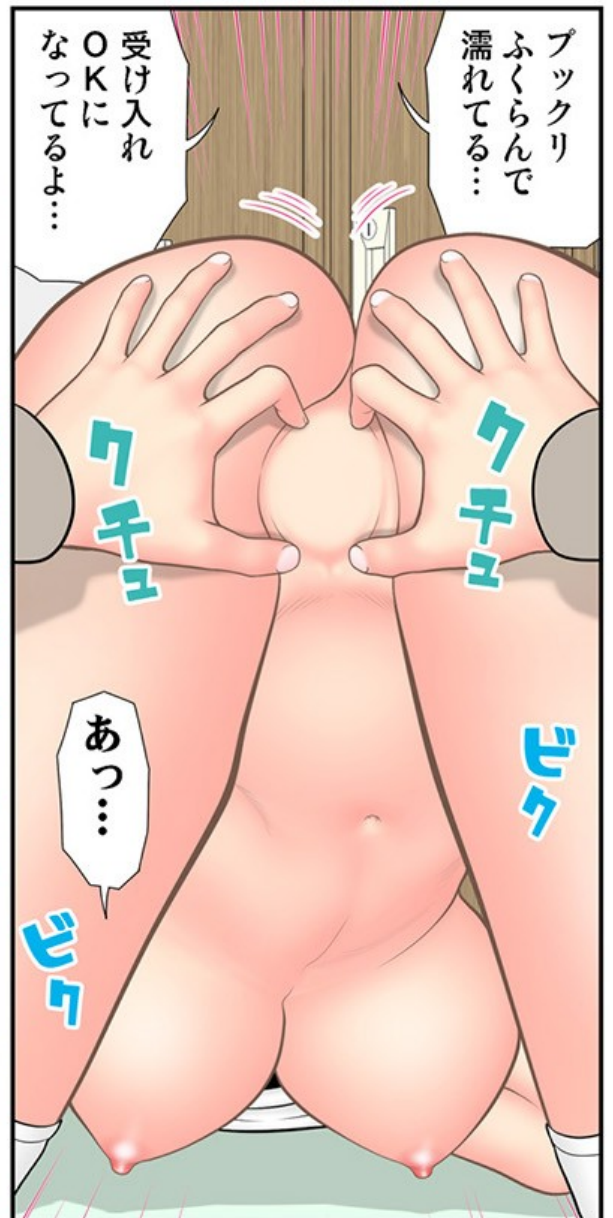
栗本重治

第50話









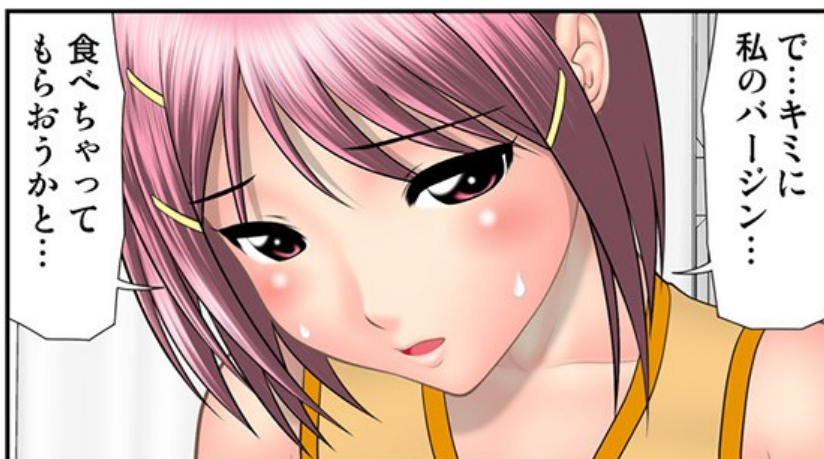
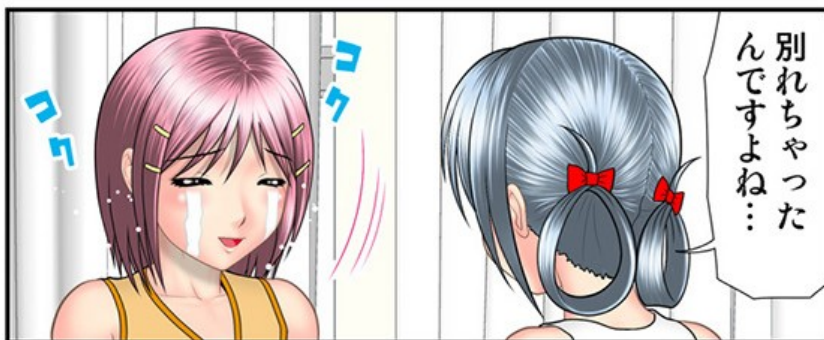
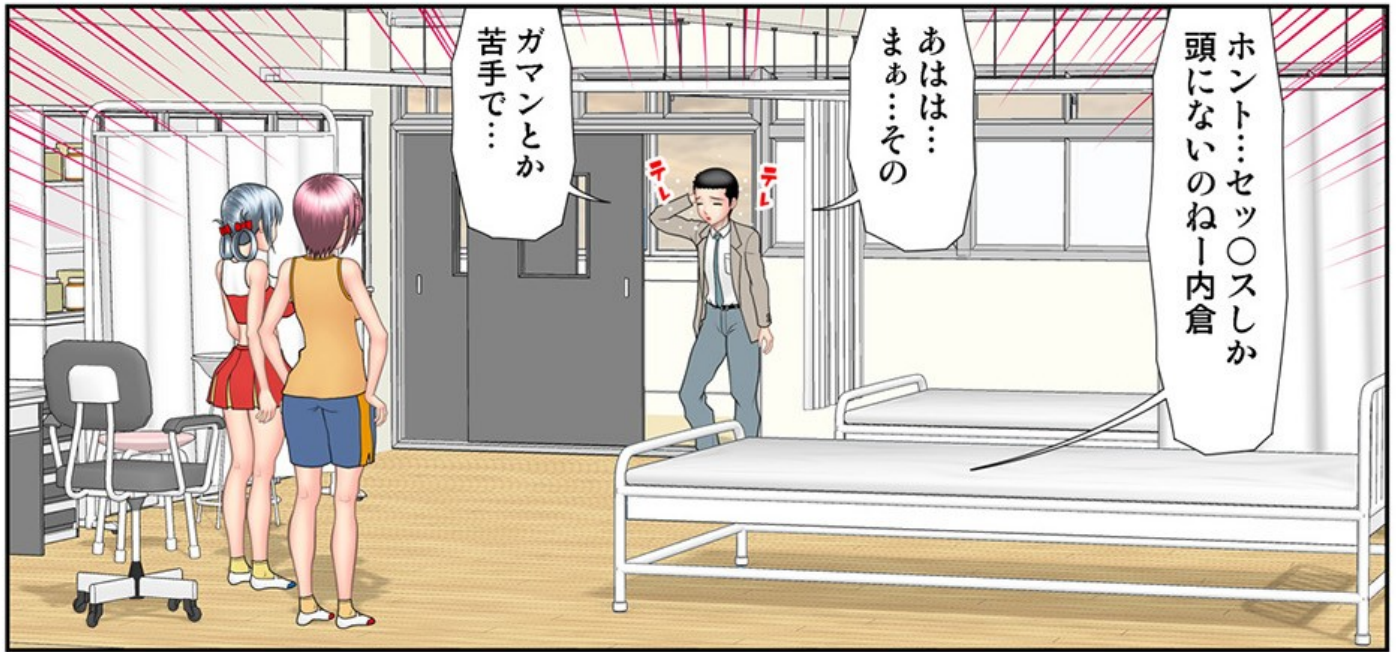


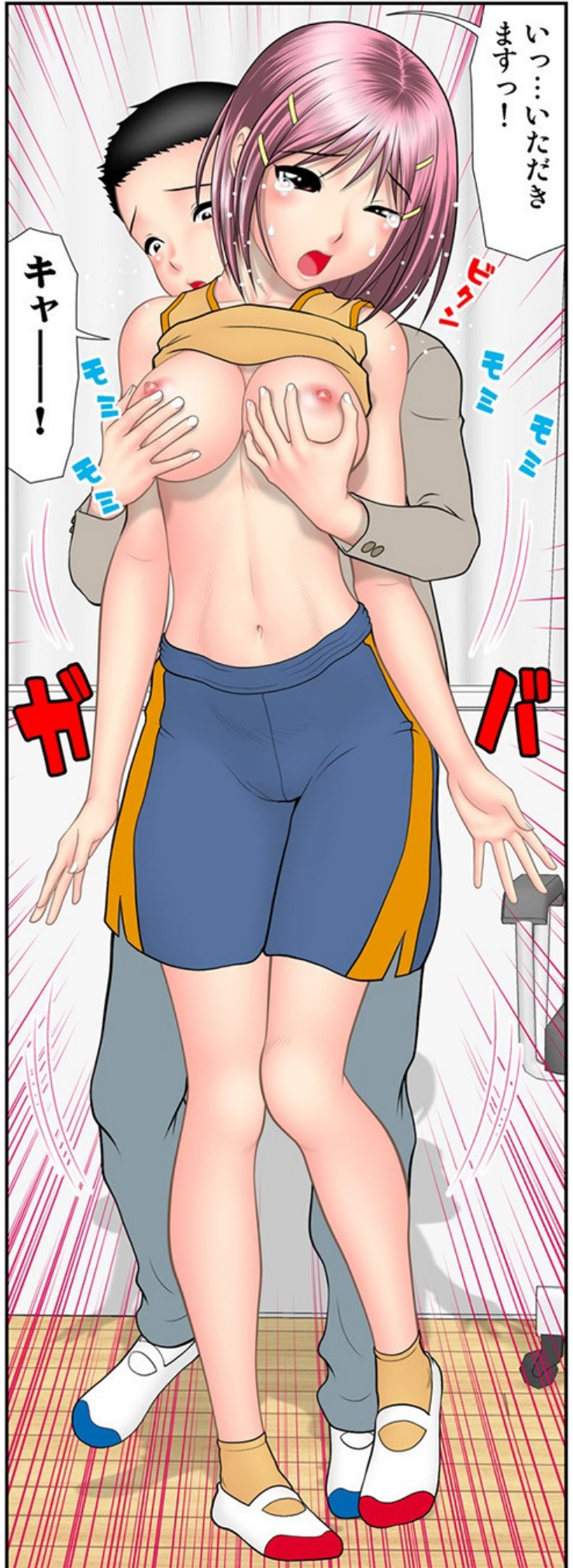
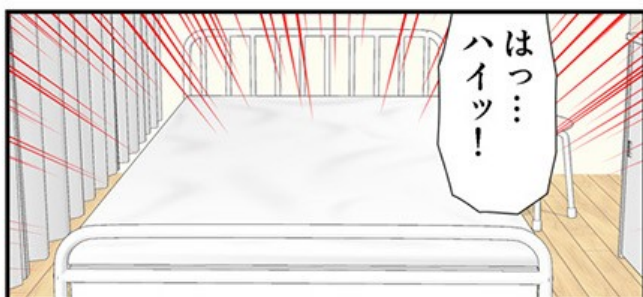


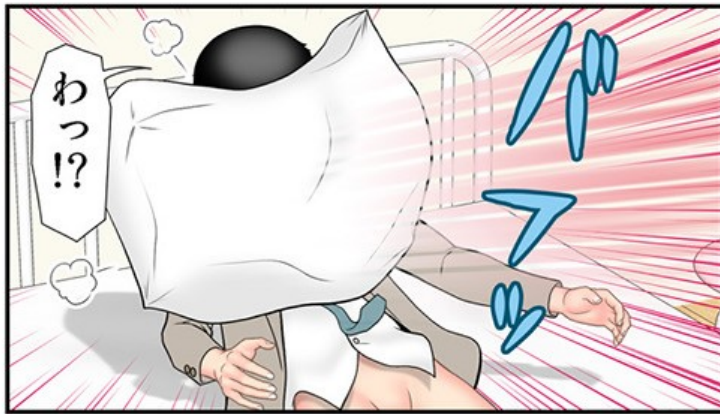




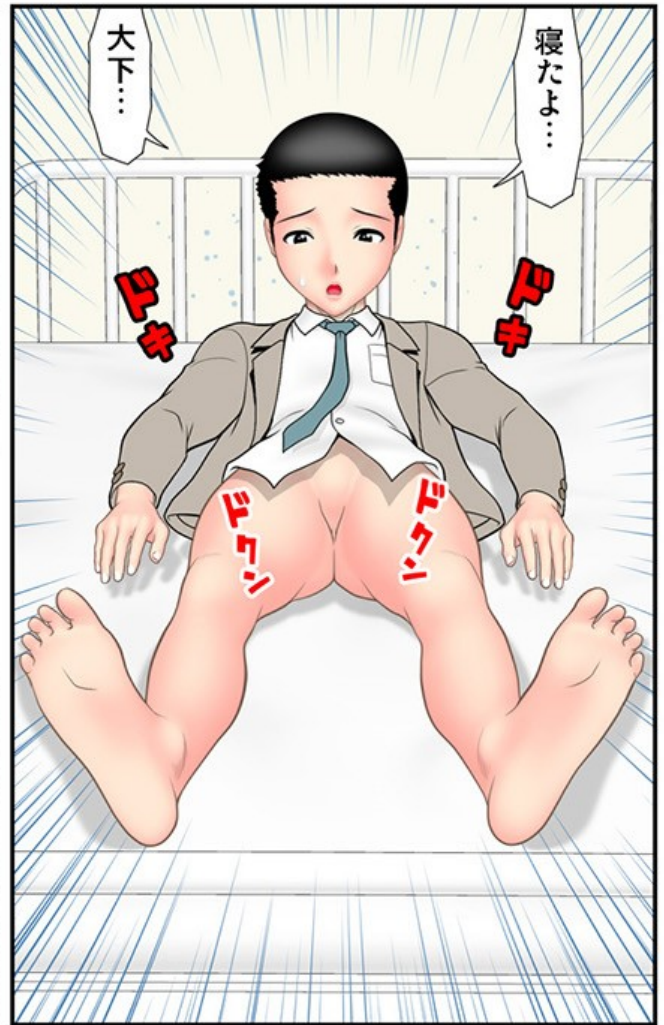








わっ!?



大下...

寝たよ...

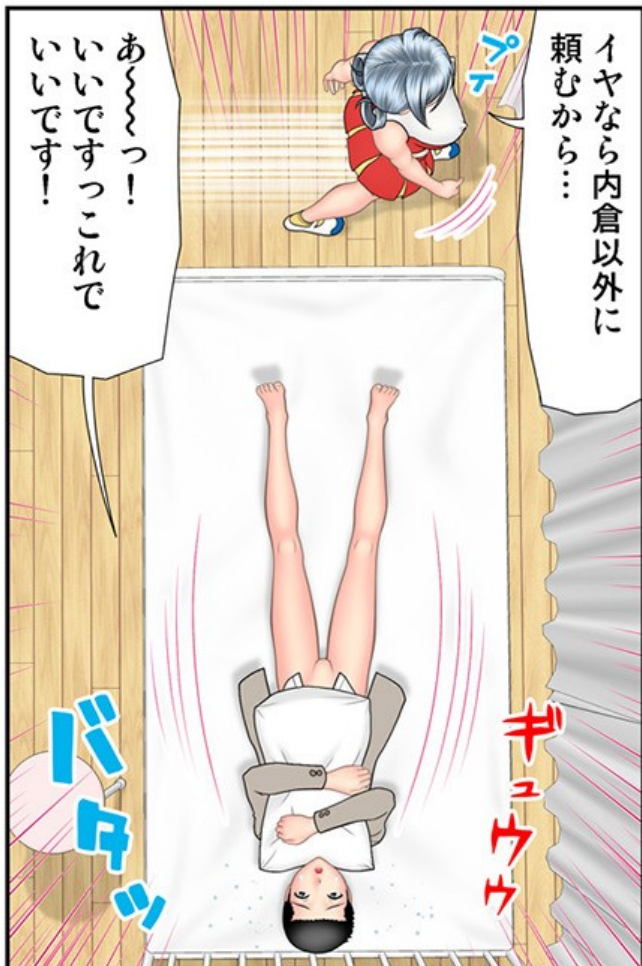


今から
終わるまで...

え?

そのマクラを
抱きしめて
いるコト!

そつ...
そんな...



イヤなら内倉以外に
頼むから...

あ~~~~っ!
いいですっこれで
いいです!



オマエ興奮すると
抑え利かないでしょ!

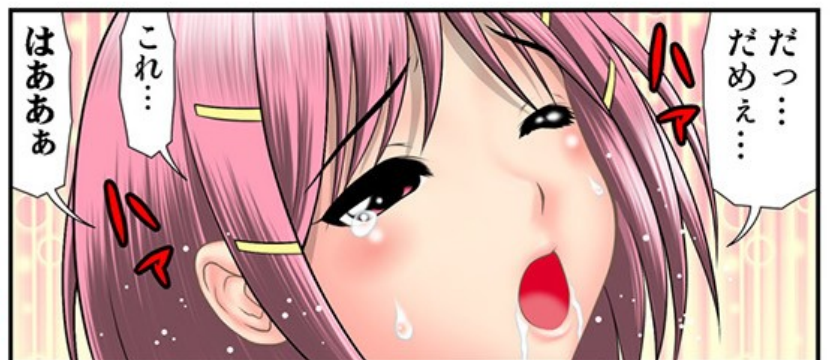
それを抑える
マクラよ









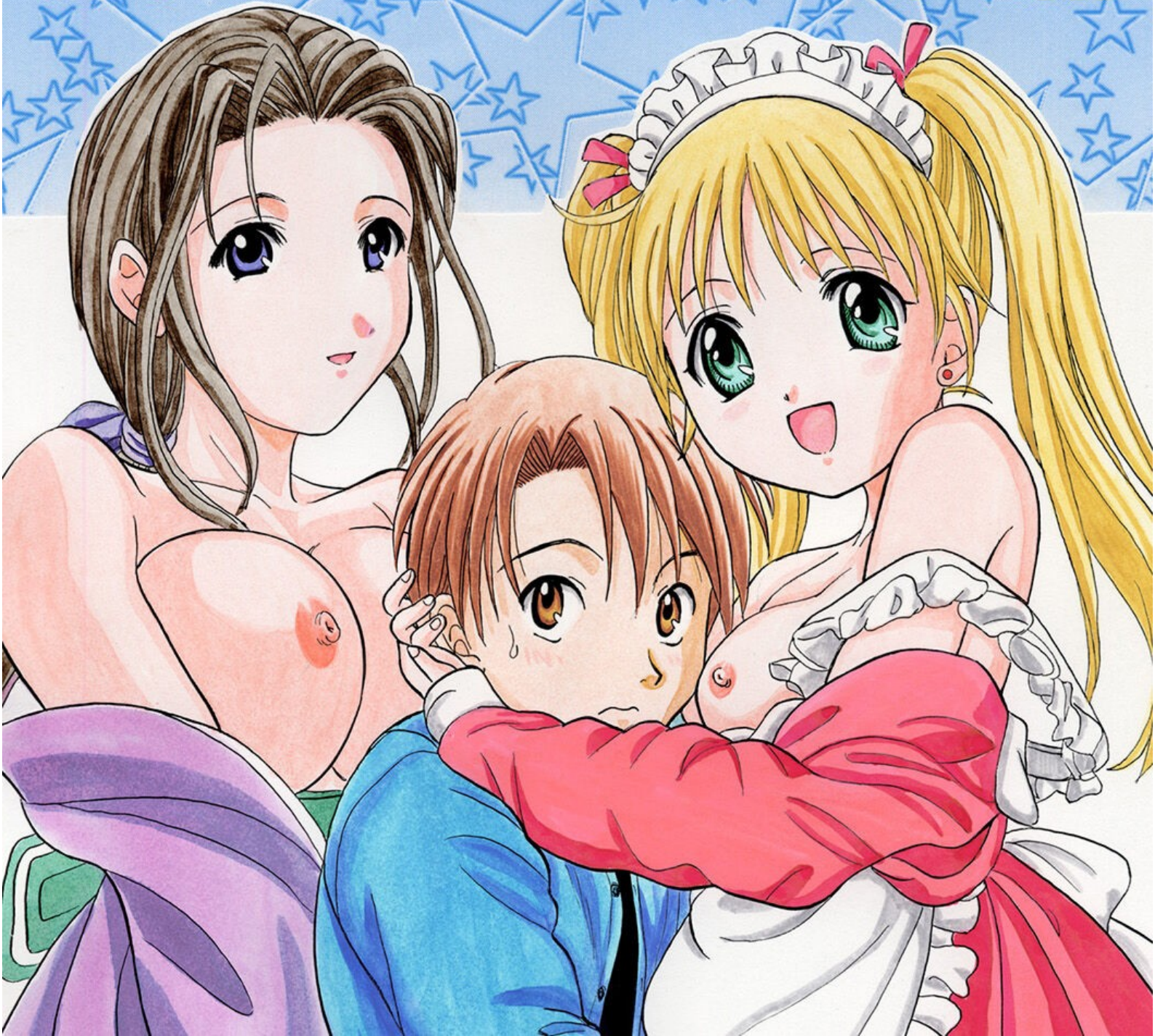


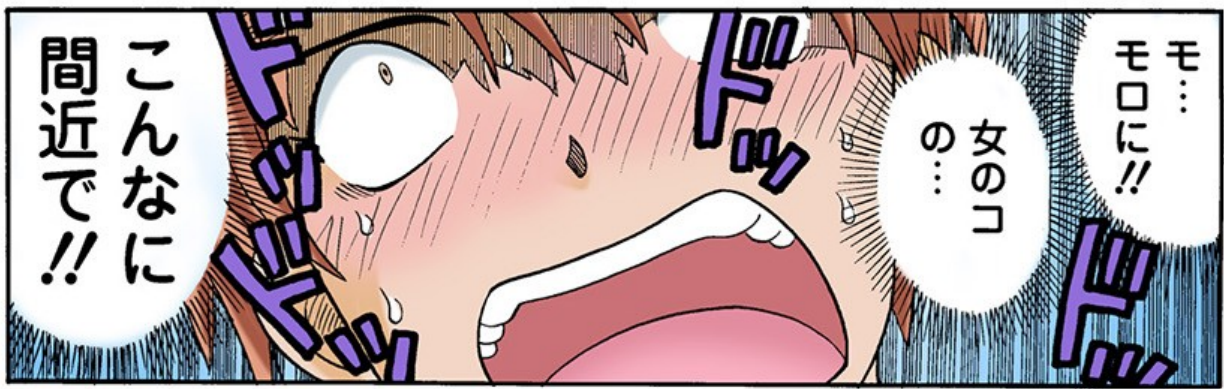


お嬢様の♡♡♡♡♡ な御奉仕

桂木たくみ

第七話







させ……る

成……立……

う……う



既成事実……

すすす
すっげー
キレイだ!!



しょーたの子供
身籠もるん
だ!!

おま



ハアハア
挿入れられたら
ヤバイって
わかっている
のに……

い……



美沙さん
ごめんっ!!

あっ



めっっちゃ
挿入れてええ
っ!!

みつ...

は...
は...



いつたああ
— っ!!



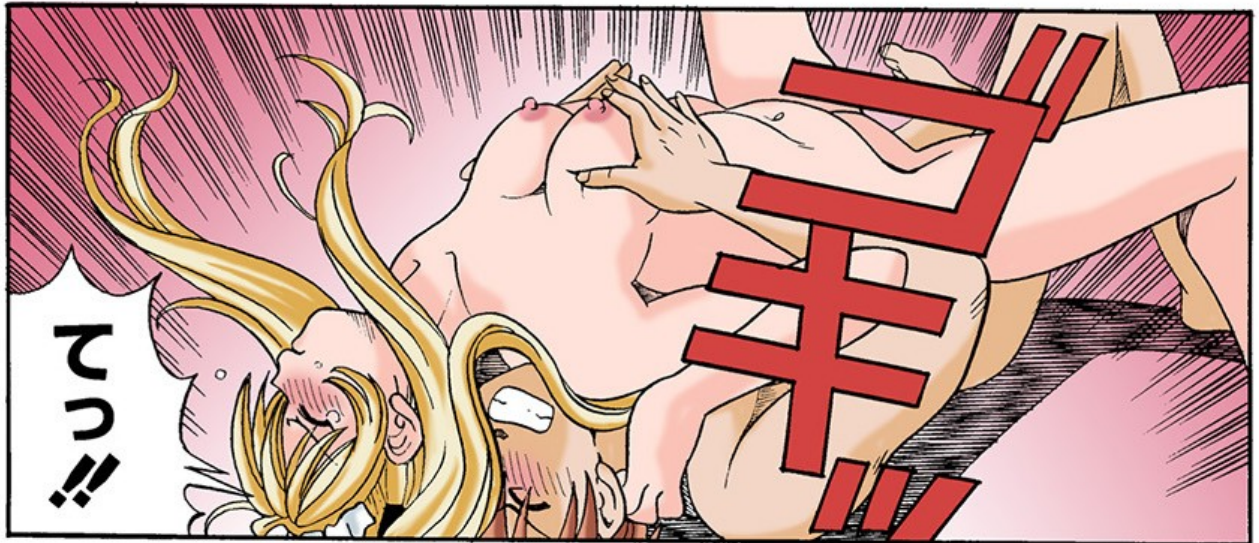
ヤダヤダ
ヤダーツ

そんな!
いまさら!!



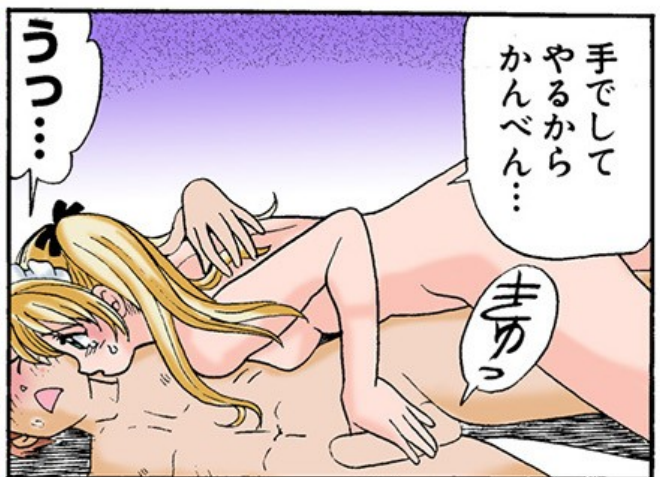
やっぱ
ヤダーツ!!

にげろ



てっ!!

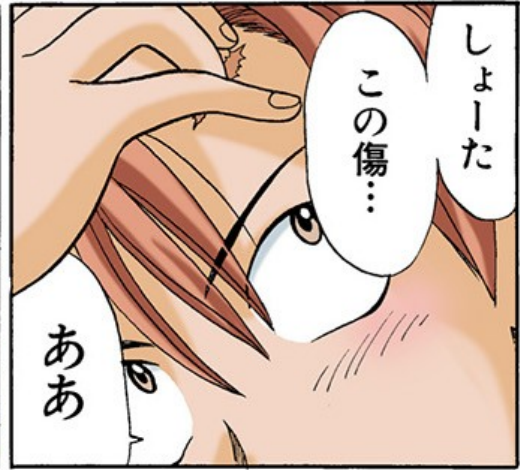
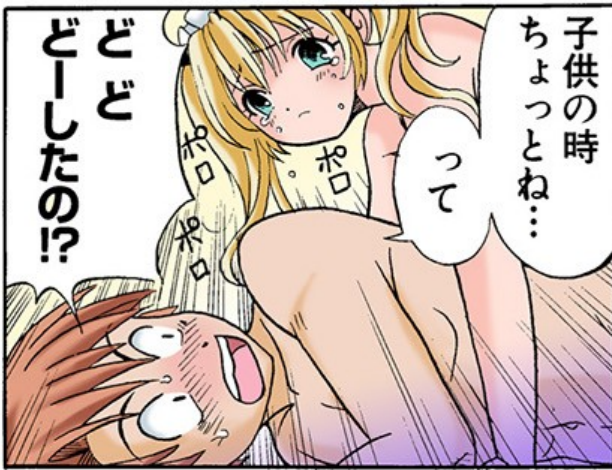
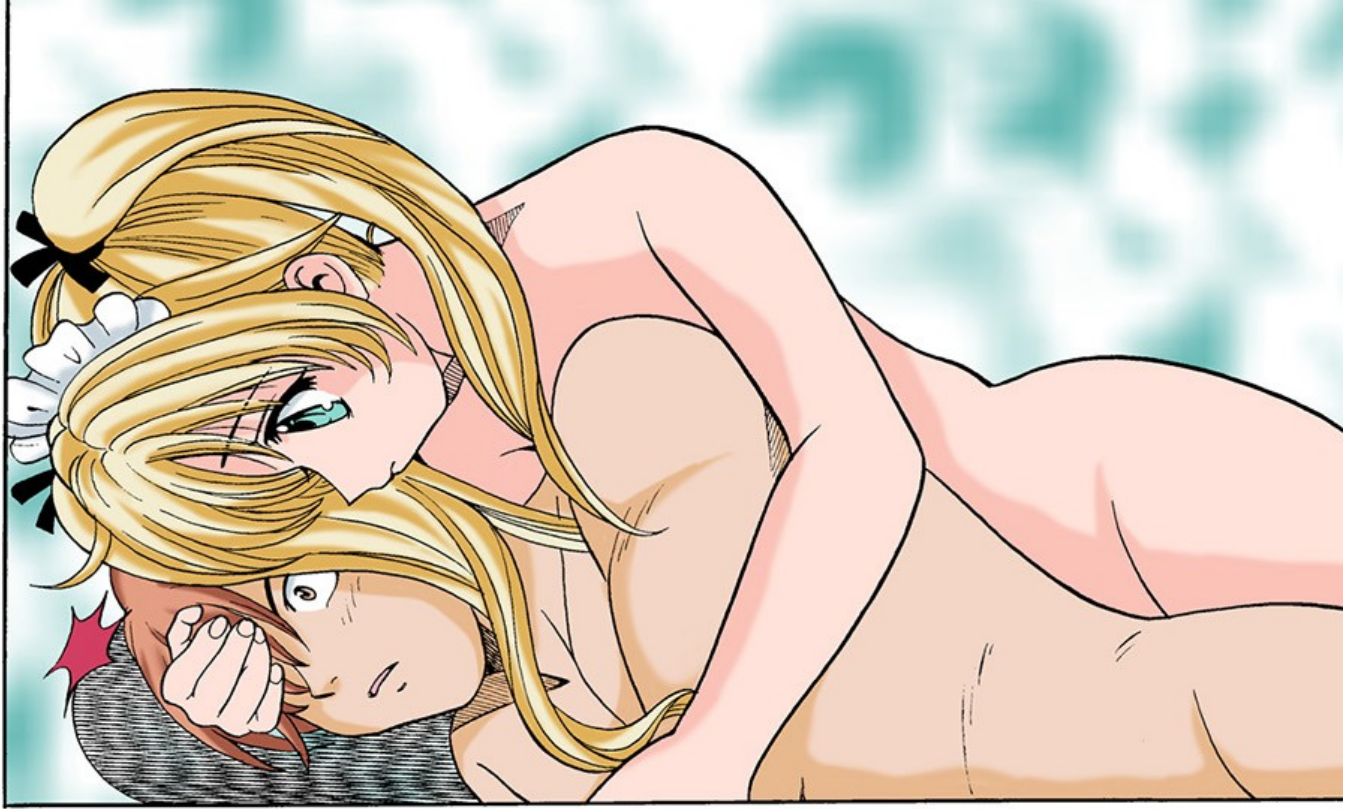
まじ

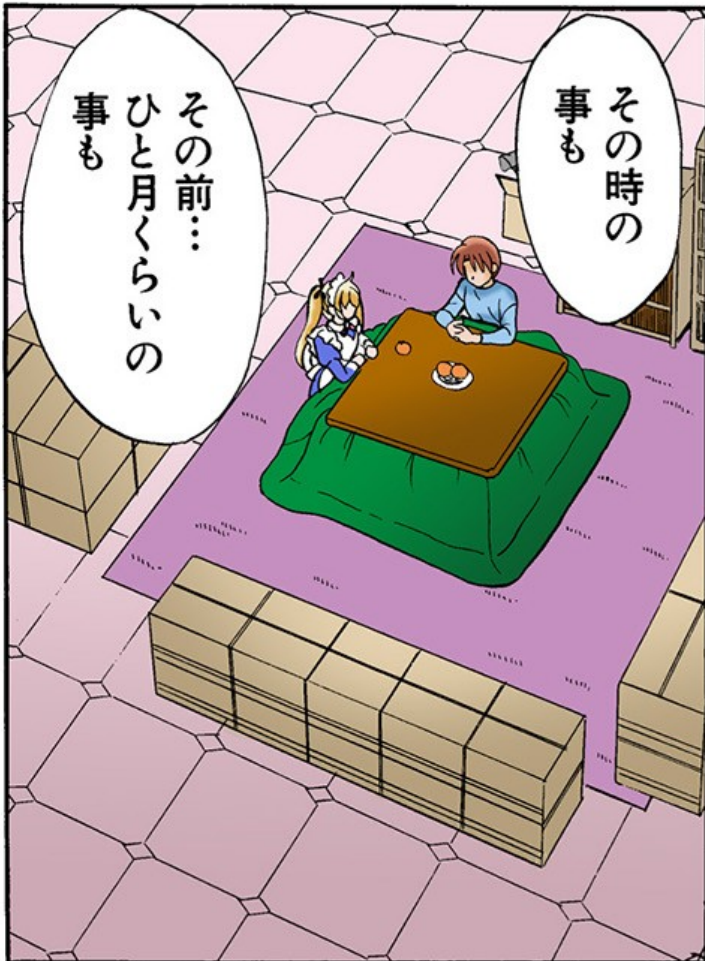
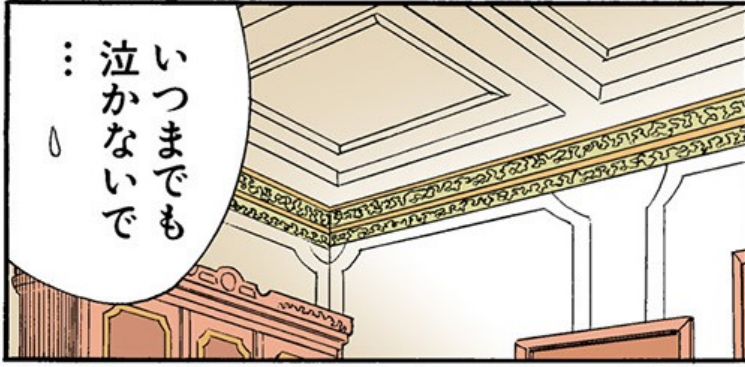


うっ...

手でして
やるから
かんべん...

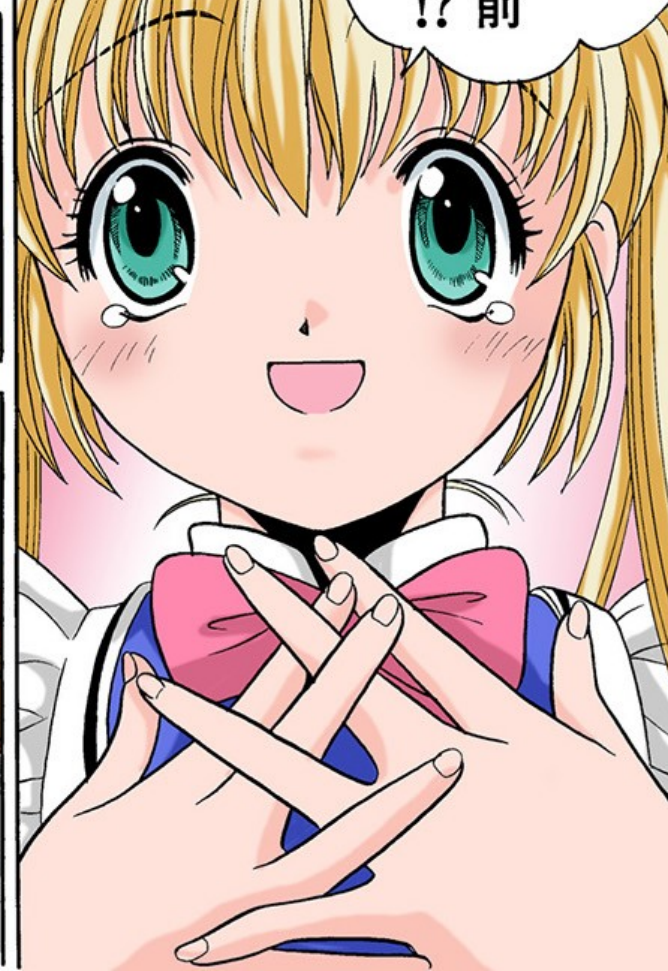
まじっ

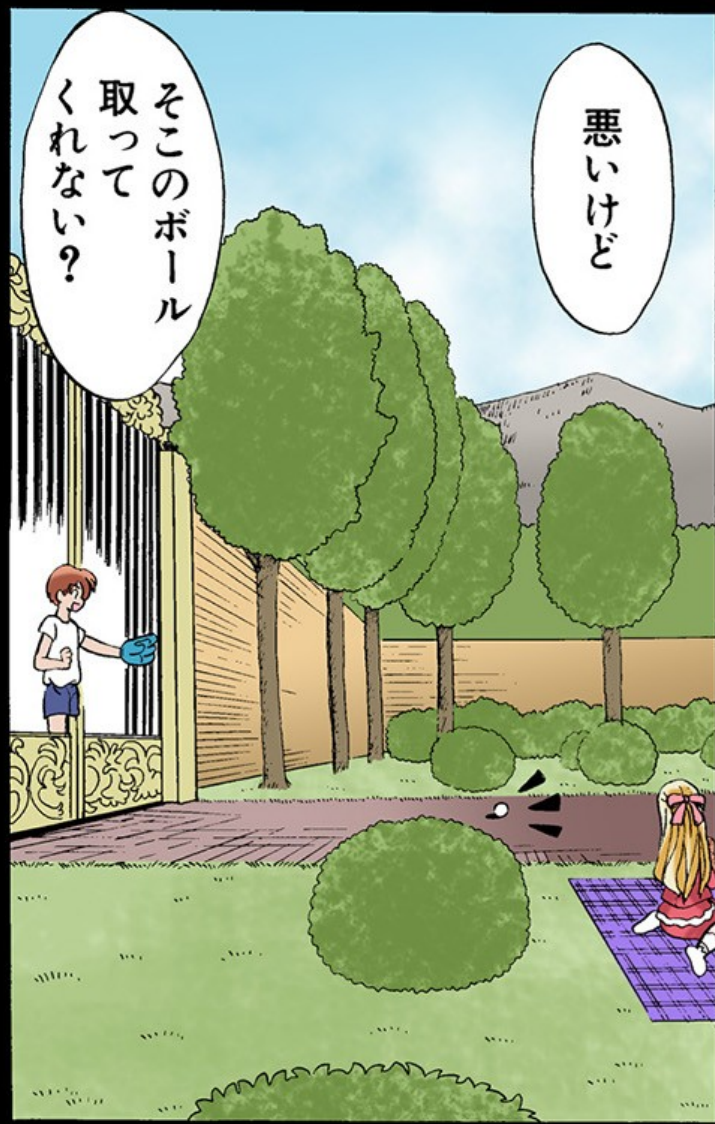
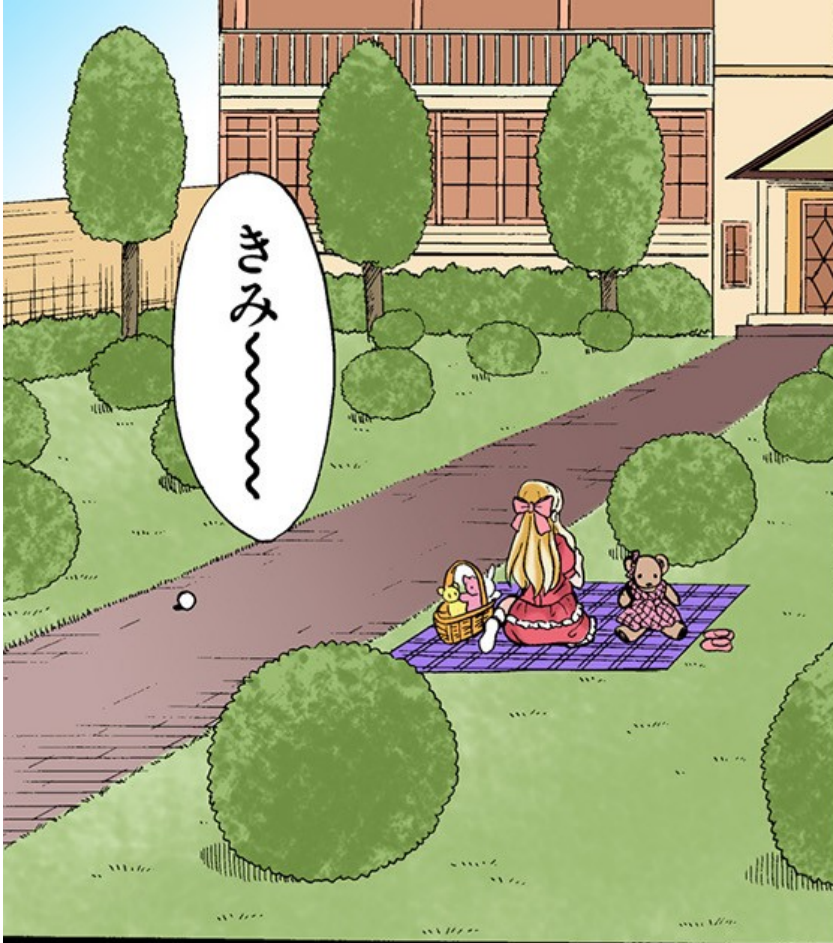




本当か
しよーた!!

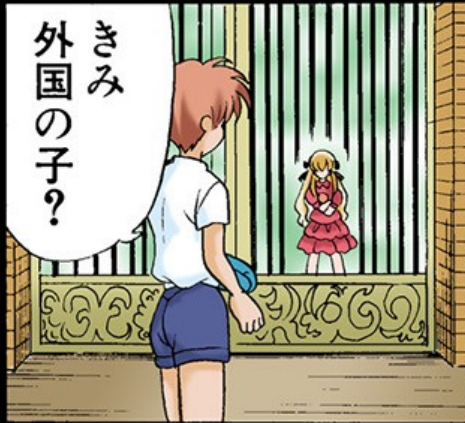
だから
緑子のこと
覚えてない
のかっ!?







サンキュー



きみ 外国の子?



緑子は

人に見られちゃ
いけないの



どうして?

わかんない

お庭も出ちゃ
いけないの



じゃあ
ここに住んでる
の?

ずっと?

コク
コク

コク
コク

その割には
ぜんぜん
見かけないね



綺麗なけど
厳しいの

緑子の
世話をし
てくれる人

マリアって？



シャロンと
遊んでたの

今は
マリアが
いないから



じゃ
お母さんは？

いない

お父さん
は？

いない



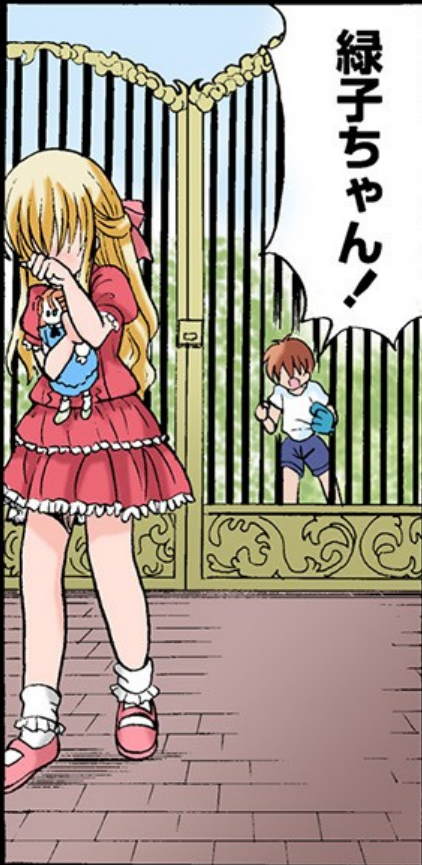
緑子と
遊んで
くれるか？



正太~~~~

ボール
あつたか？





緑子ちゃん!



あっ

クルッ



ごめん



俺今
野球して
るから



約束だぞ
——っ!!



明日

明日また
来るから!



そしたら
遊ぼう!!



あつた!!

それをも
忘れてたのか
しよーたー。

俺の実家の近くに
そんな屋敷なんて
あつたっけ?



それから
しよーたは
ほとんど毎日

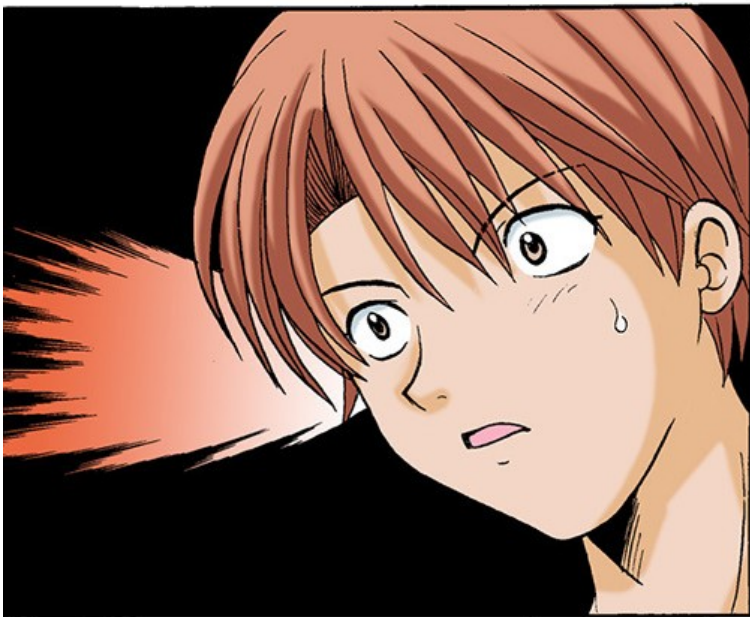
緑子に
会いにきて
くれたんだ



緑子は…

ちよっ…

ちよつと
待って



ずっと…
住んでたんだぞ
緑子は

“あの日”以来

しよーたが
会いに来てくれなく
なつてからも
ずっとずっとだ…!!



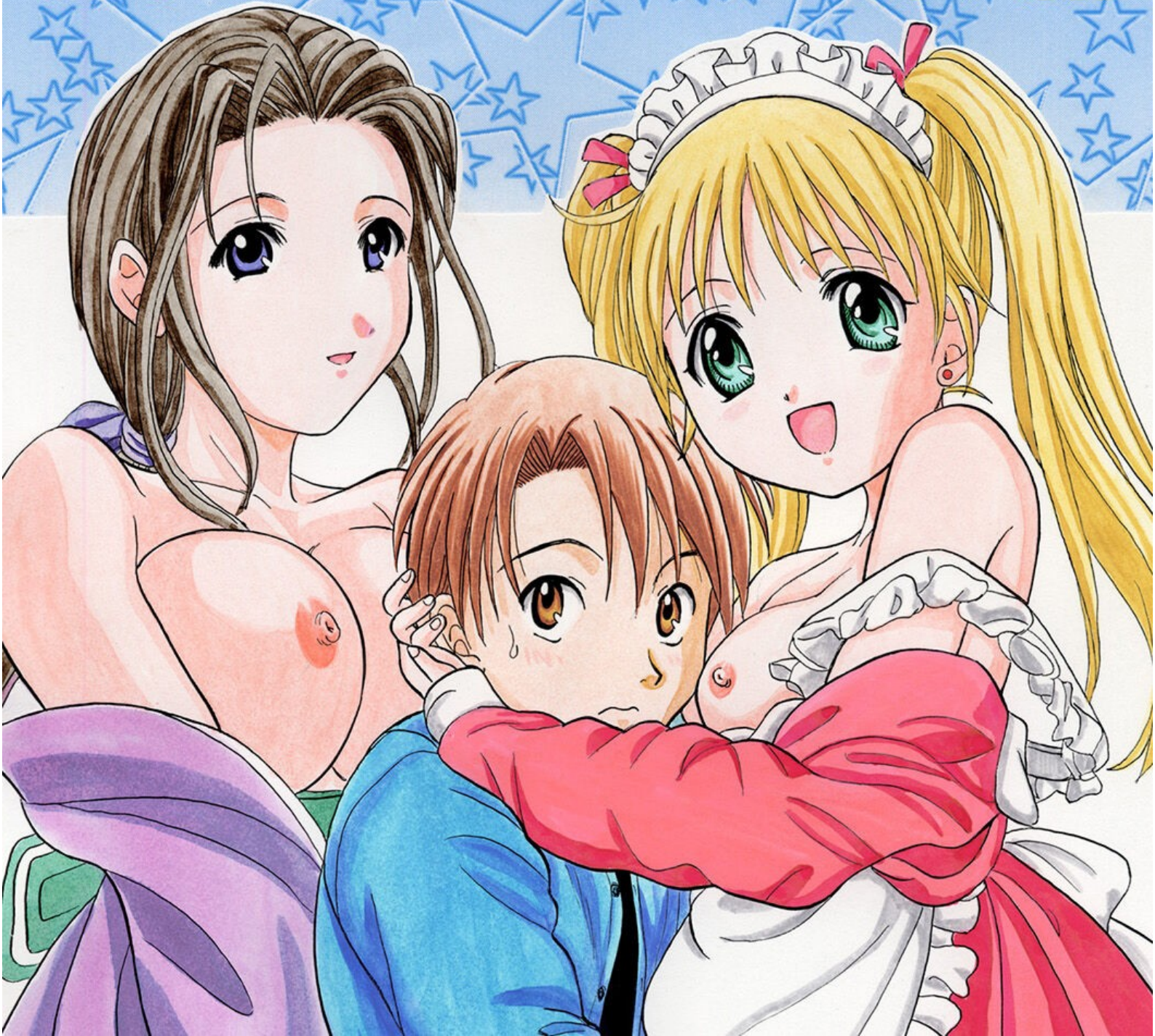
あの日…?

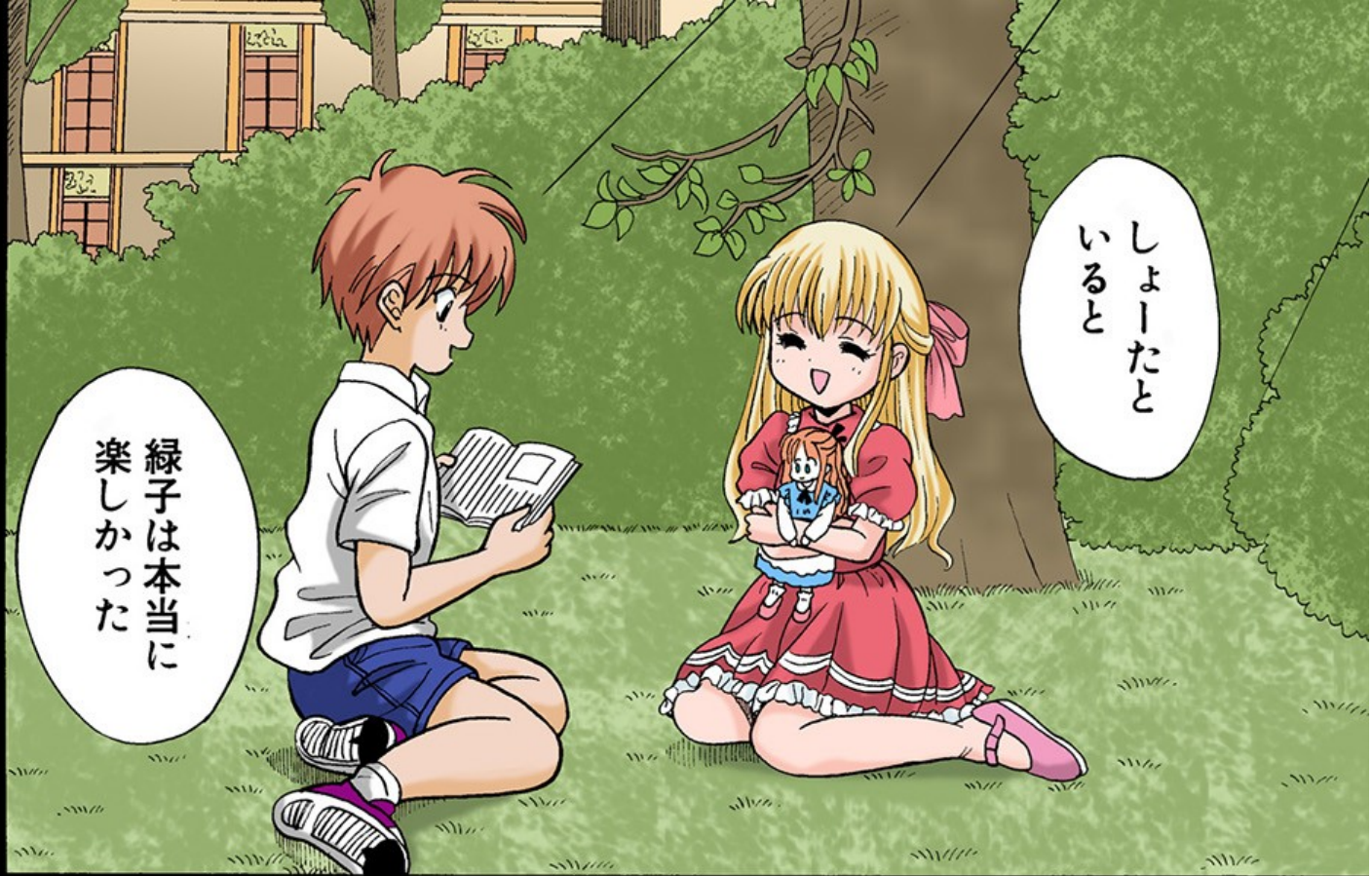
お嬢様の♡ な御奉仕

こほうし

桂木たくみ

第八話



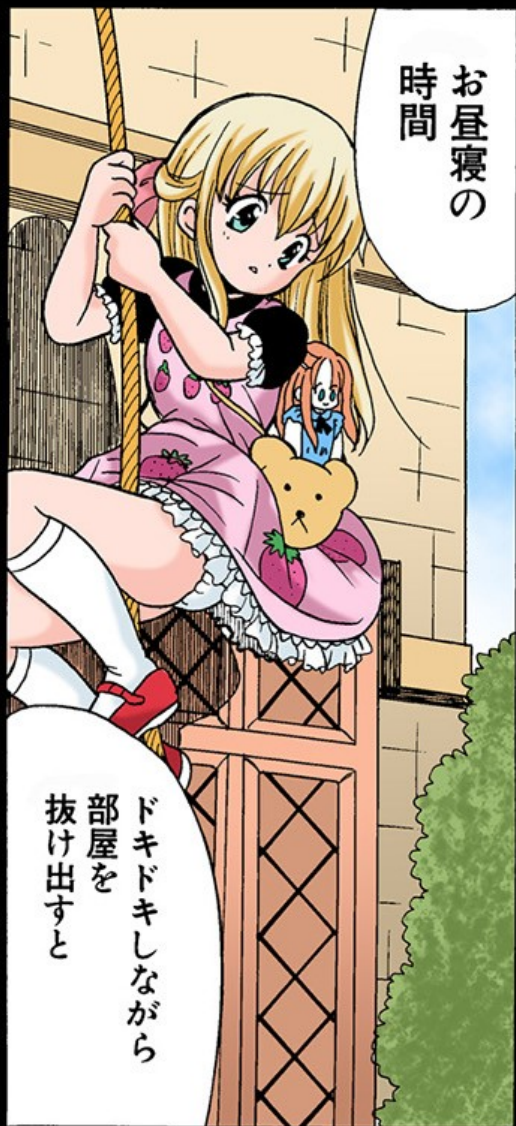


緑子は本当に
楽しかった

しよーたと
いると



いつも
しよーたが
待っていて
くれた!

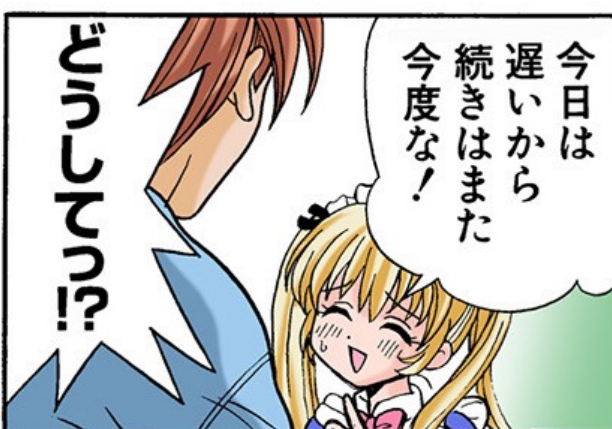


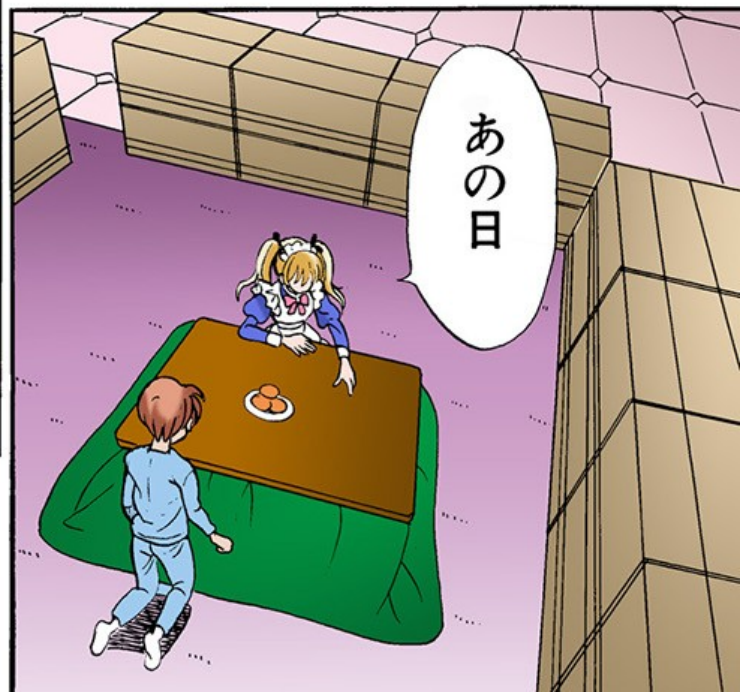
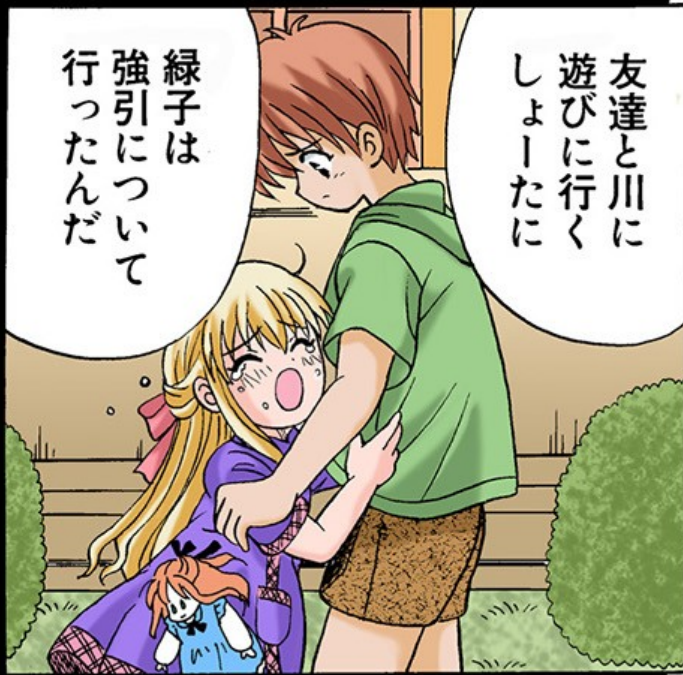
お昼寝の
時間

ドキドキしながら
部屋を
抜け出すと



“あの日”が
来るまでは…







だからしよーたは
緑子の命の恩人

緑子は
その恩を返す
ために来たんだ



傷はその時
岩にぶつかって
できたものだ

緑子のせいで
できたものだ



けど



思い出し
たか？



何ていうか
罪悪感…？

そう…
罪悪感みたいな
ものがあって

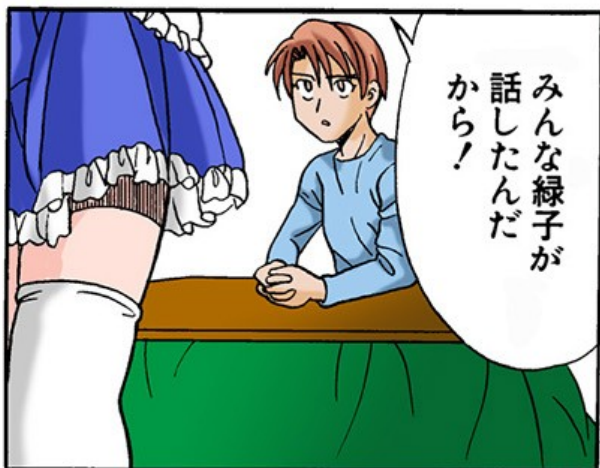
それで
思い出さない方が
いい気もしてて…

今まで
あまり考えない
ようにしてたんだ
きつと…

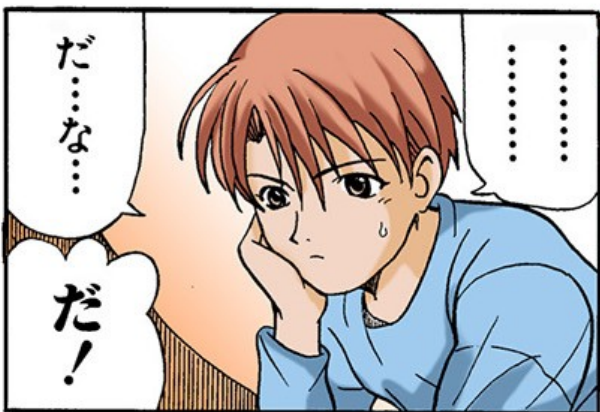


でも…
言われれば
確かに

誰かを助ける
ために川に
入ったような
気もするけど…



みんな緑子が
話したんだ
から！



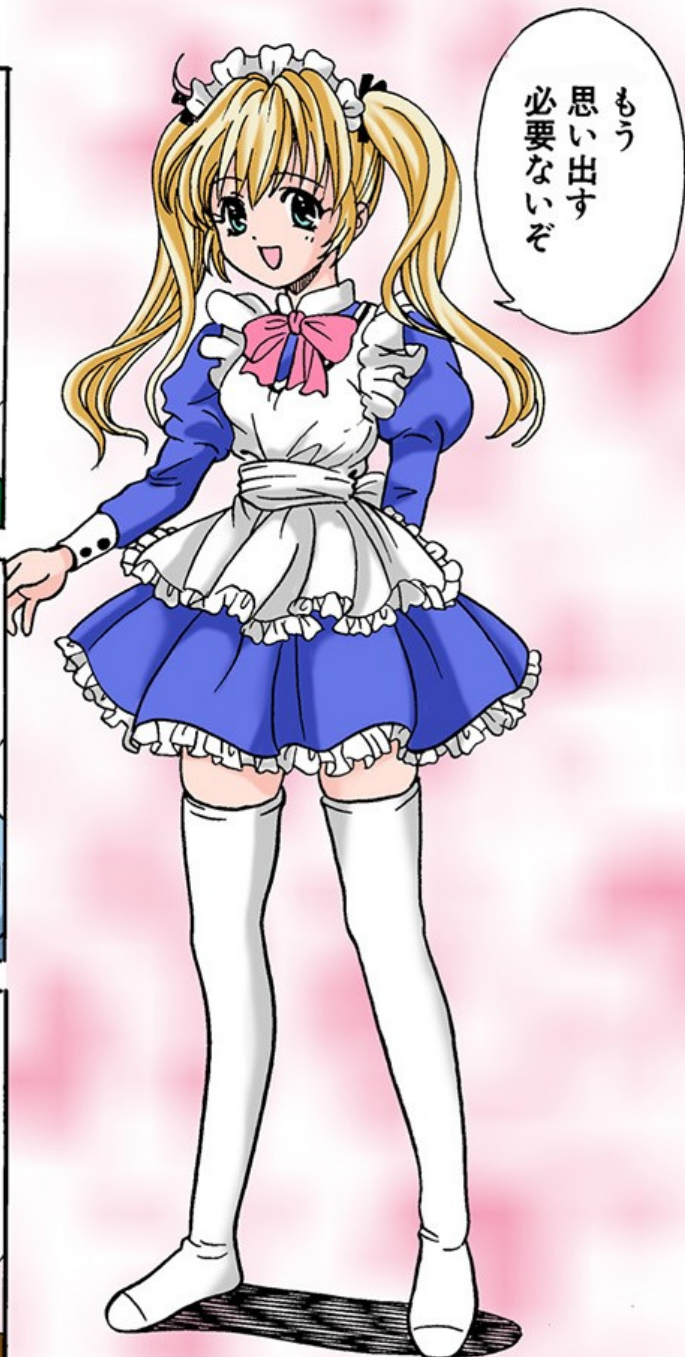
だ...な...

だ！



緑子のことは
メイドと思え

何でもして
やるぞ！



もう
思い出す
必要ないぞ

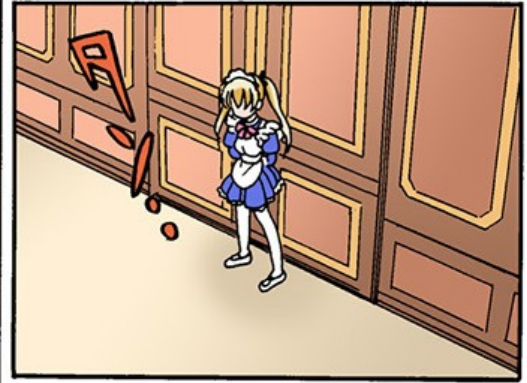


とにかく
今日は
もう寝ろ！

緑子も
寝る！

ごめんな
緑子ちゃん

強引に
連れ出して
危険な目に
あわせて



俺...
俺...
っ

ほんと
ごめんな!!



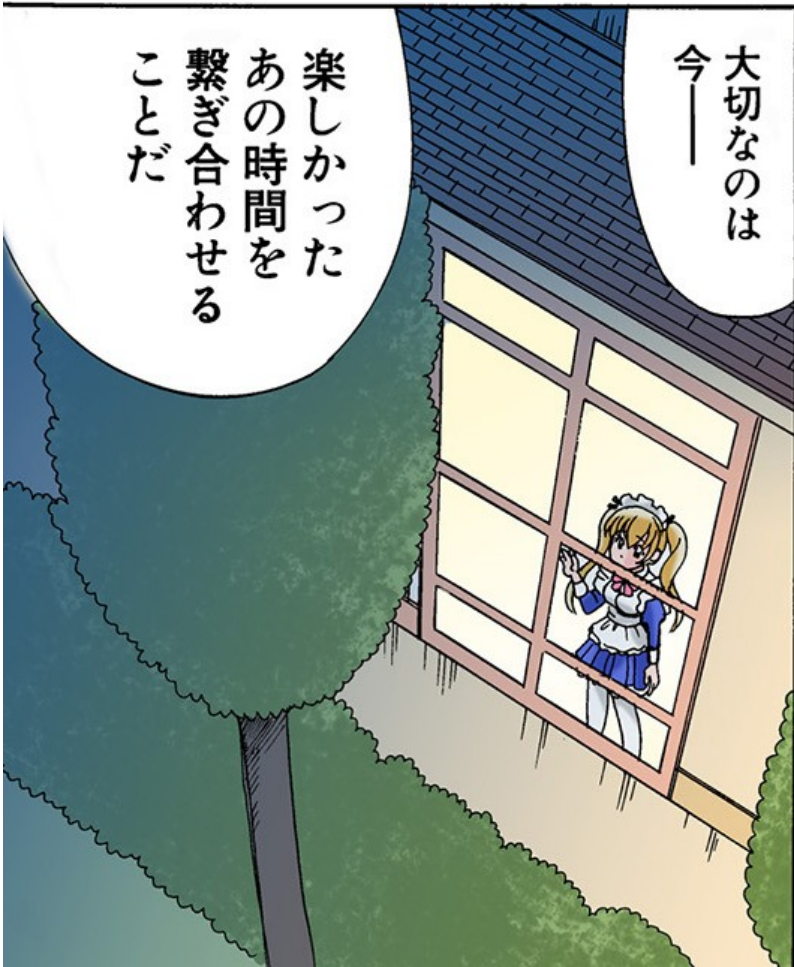
ごめん...

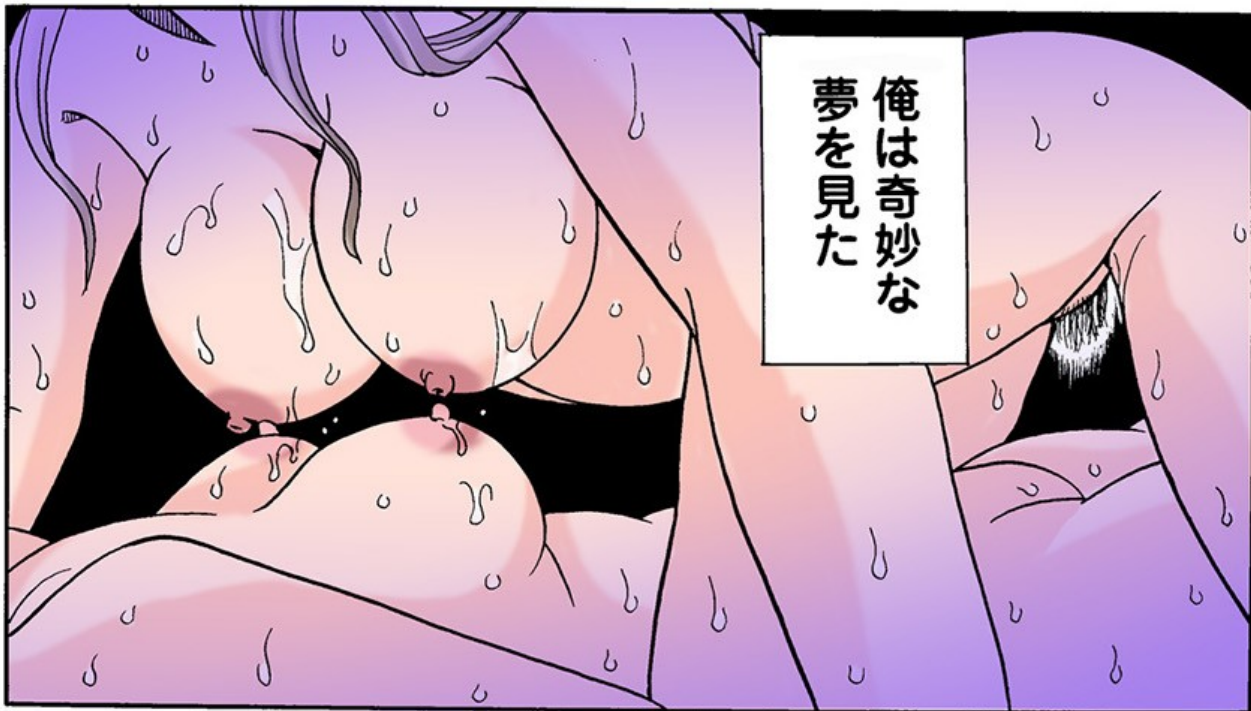


...気にするな
しよーた

大切なのは
今——

楽しかった
あの時間を
繋ぎ合わせる
ことだ





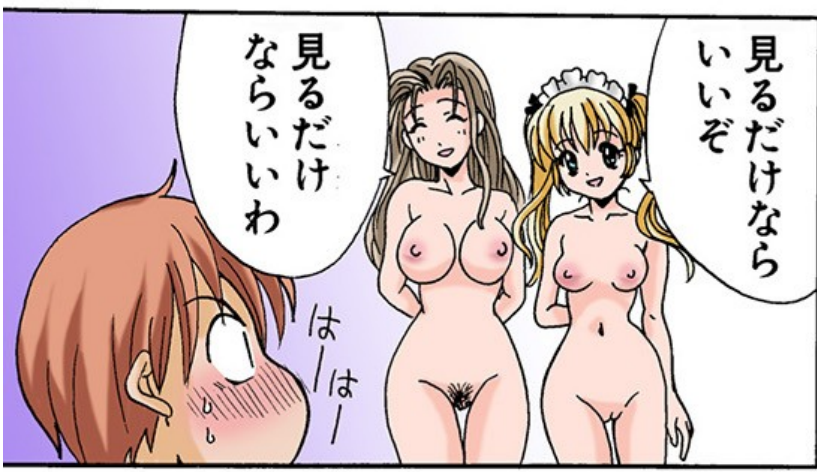


見たいか
しよーた？



体が
動かねー!!

くっ...
何だ!?



見るだけ
ならいいわ

見るだけなら
いいぞ

はー
はー



見たい？
正太くん

くす
くす

くす
くす

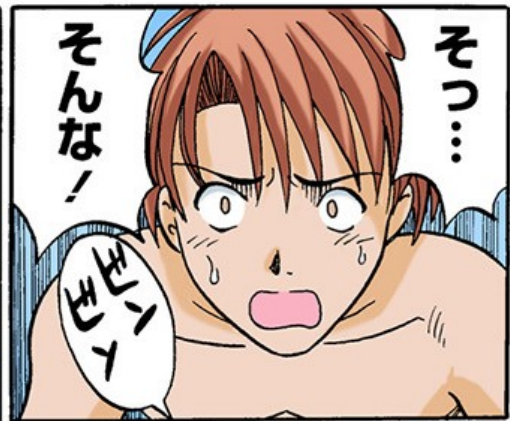
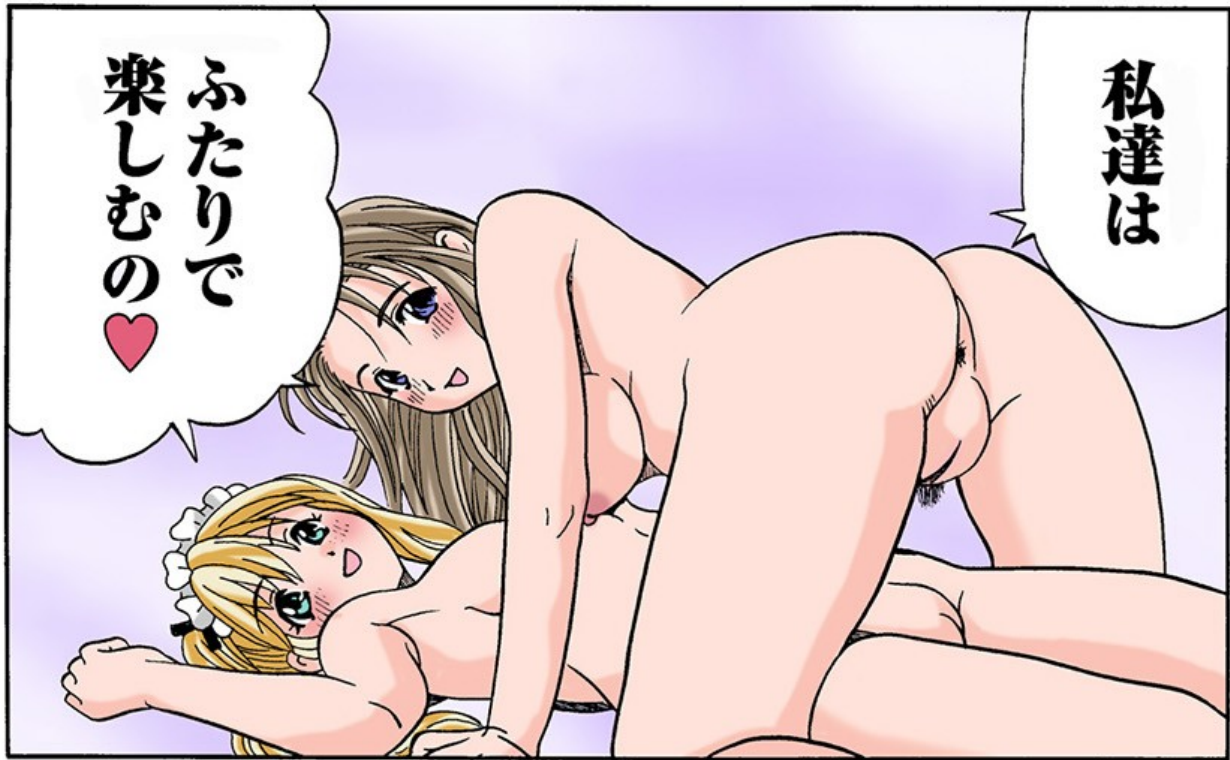
くす
くす

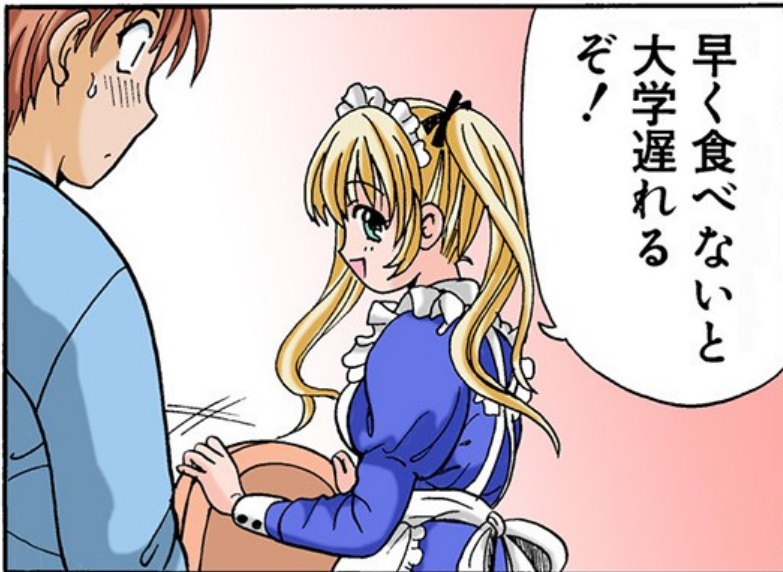
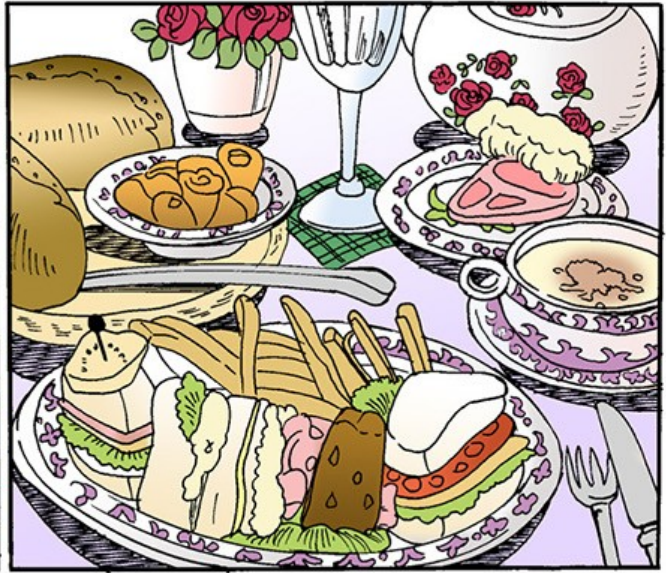
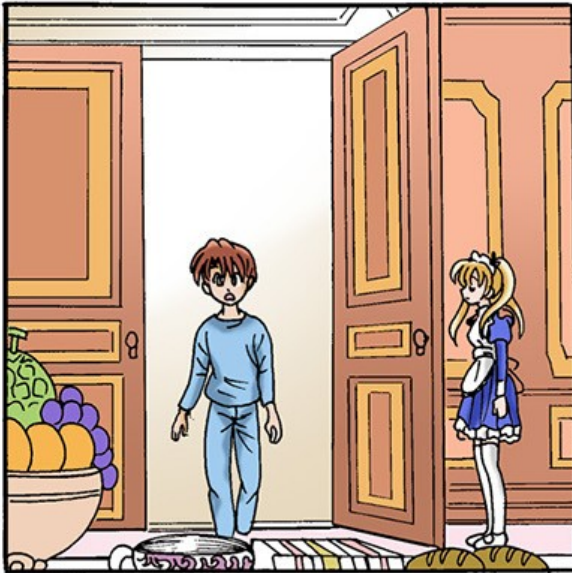
くす
くす

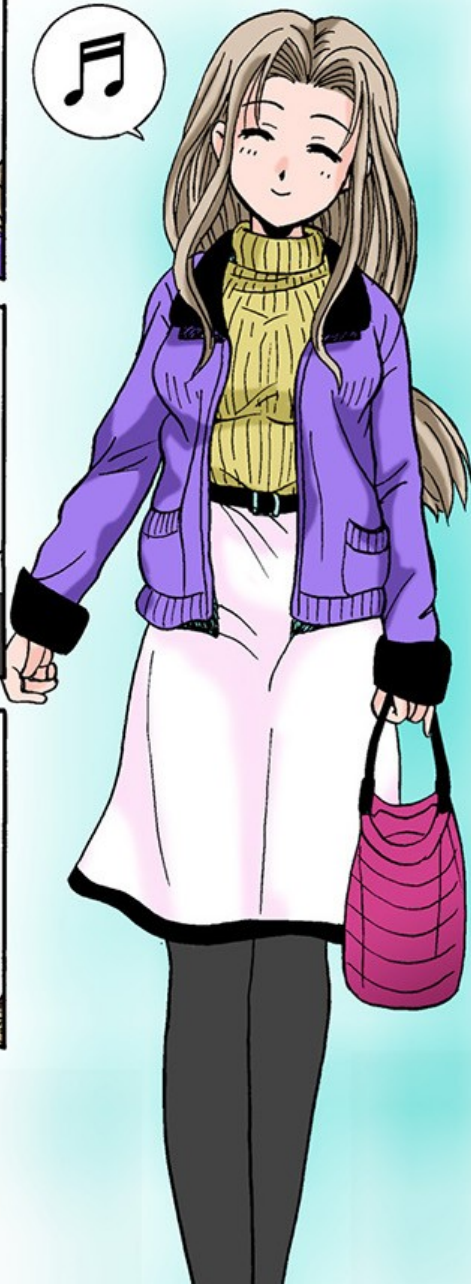
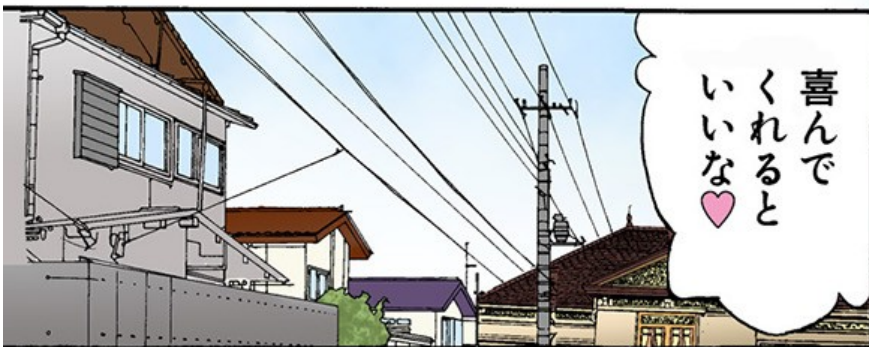
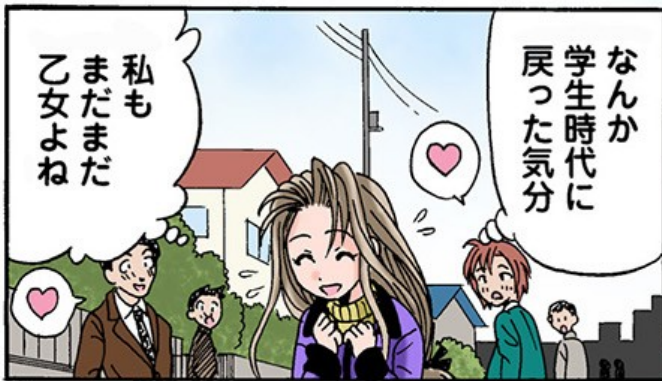
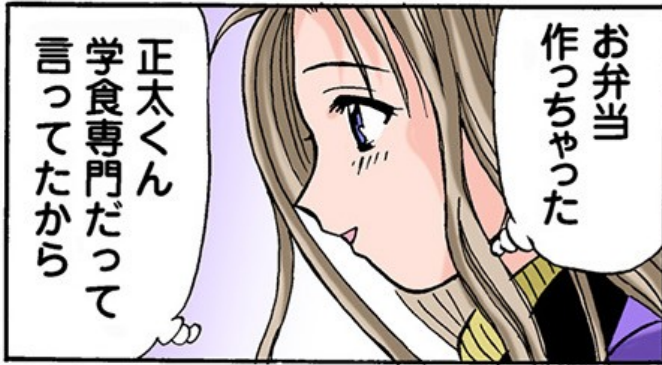


でも
それだけよ

でも
それだけだ







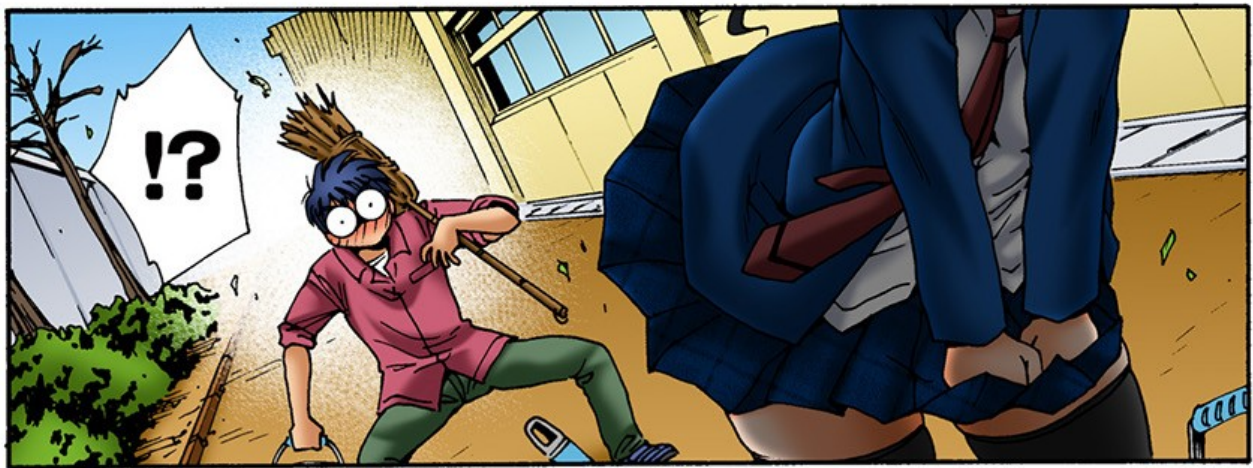
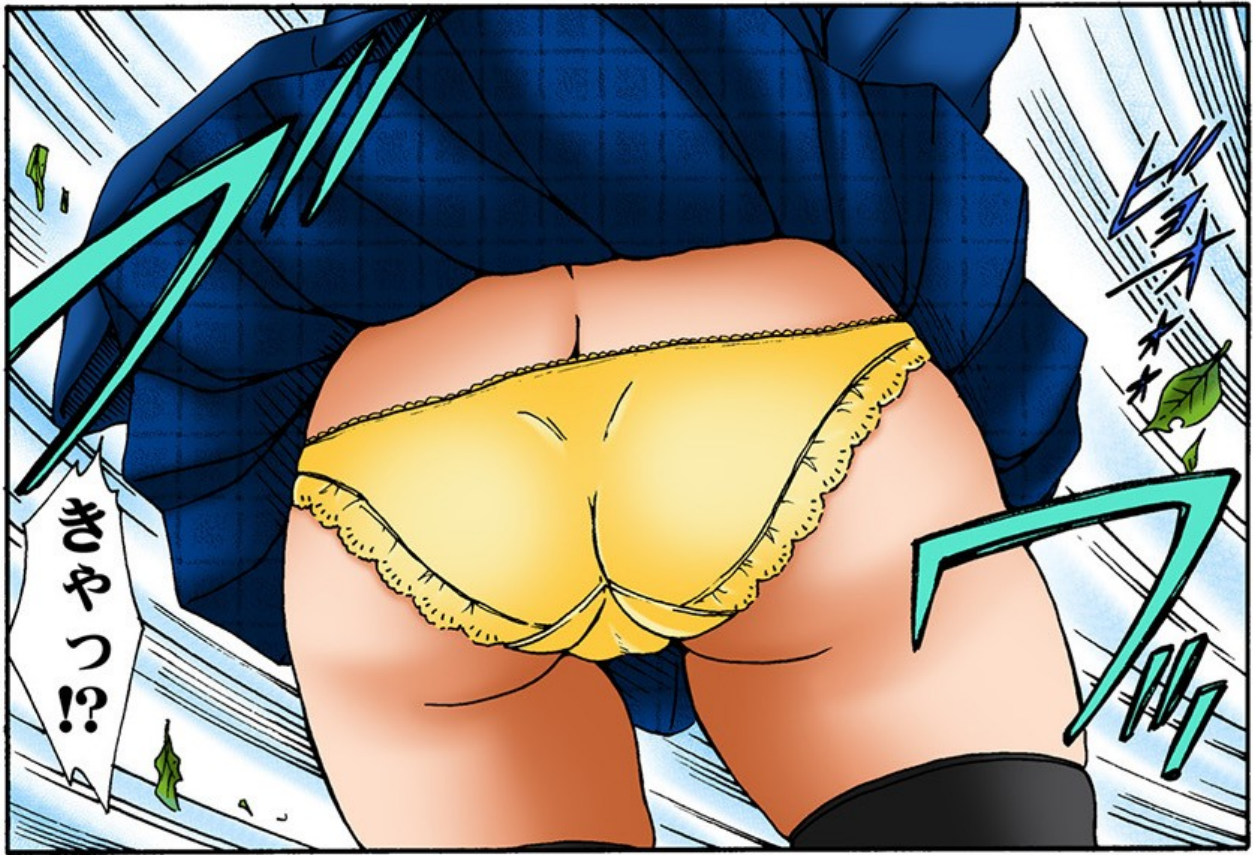
男子一人!? 女子校に



第 82 話

さがぐちしずが









これが
今回だけじゃ
なかつたんで
話す気にさ
なつてさ...

たださ...

!!?



もうやたらに
叩かないって
聞いてたんだ
ケド...?

これは
パANTS
見られた
人の分
です!

あそーゆー
理由...



おととい
一昨日も...



実は
昨日も...



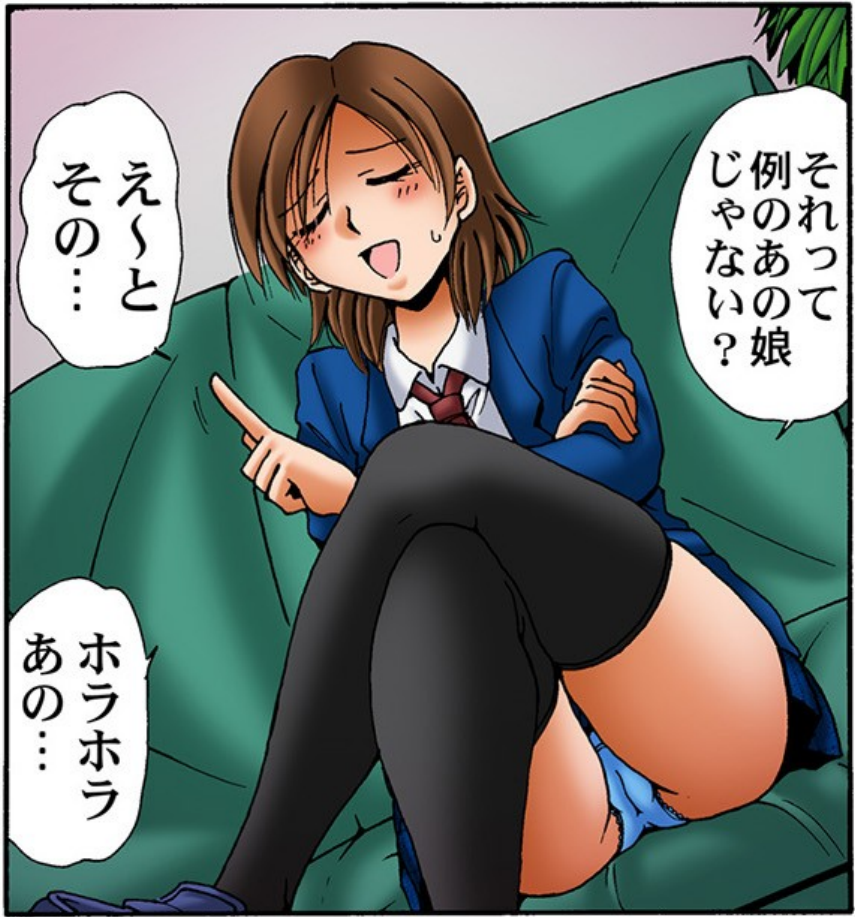
よろしく
顔は
見えず
終い
だが...

いや
めん
ない...

ほおお...

じり...

確か以前も
こんなコト
あつたよね
...?



え〜と
その…

それって
例のあの娘
じゃない？

ホラホラ
あの…



ああっ!?!
こんなトコロに
盗聴マイクが…!?!

傍受？

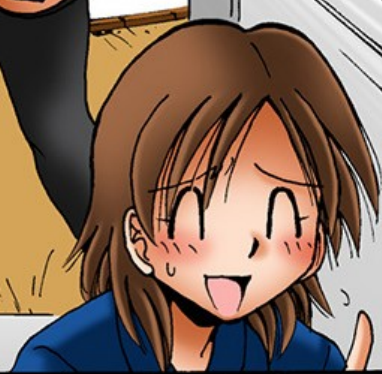
人が黙って
傍受してりや
存在すつかり
忘れてくれ
ちやって…

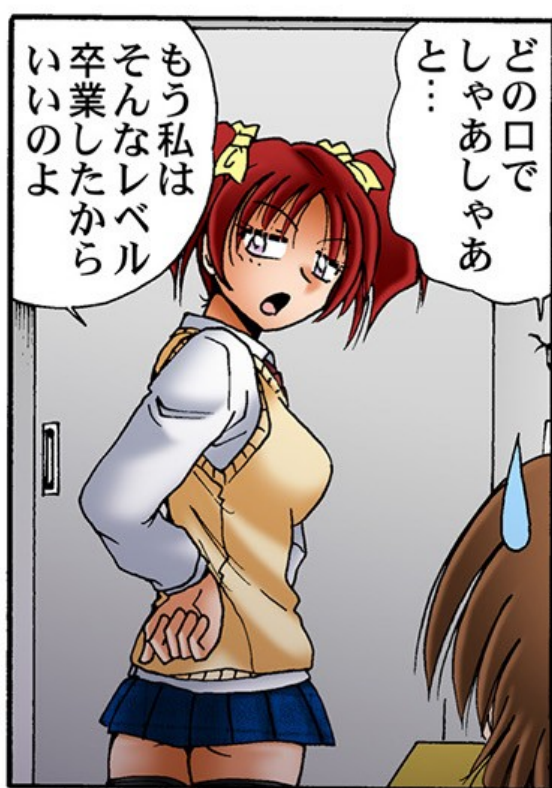
油断も
スキも
ねーな…

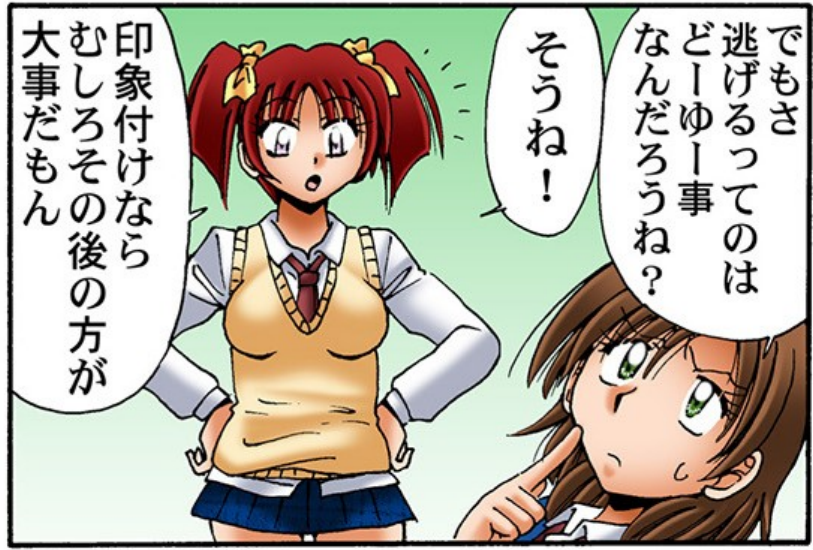


一年の
新木弥奈よっ!!

まいーか
—でその娘の
時だつてさア…





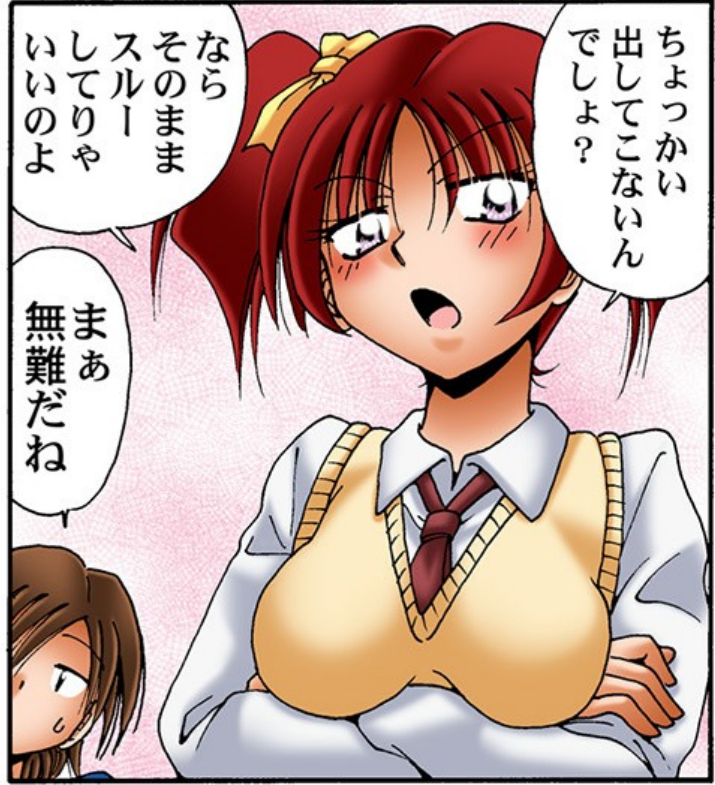




パンツも
見得
だもんね

いや
だから...

ホント
カンベン
してくれ...



ちよつかい
出してこないん
でしょ?

なら
そのまま
スルー
してりや
いいのよ

まあ
無難だね



こんなコト
するんなら
出さうぞ!

あ
あ

あ
あ

あ
あ

あ
あ

ま無理して
相手の事情に
つつ込むコトも
ないかもね...

だよな...



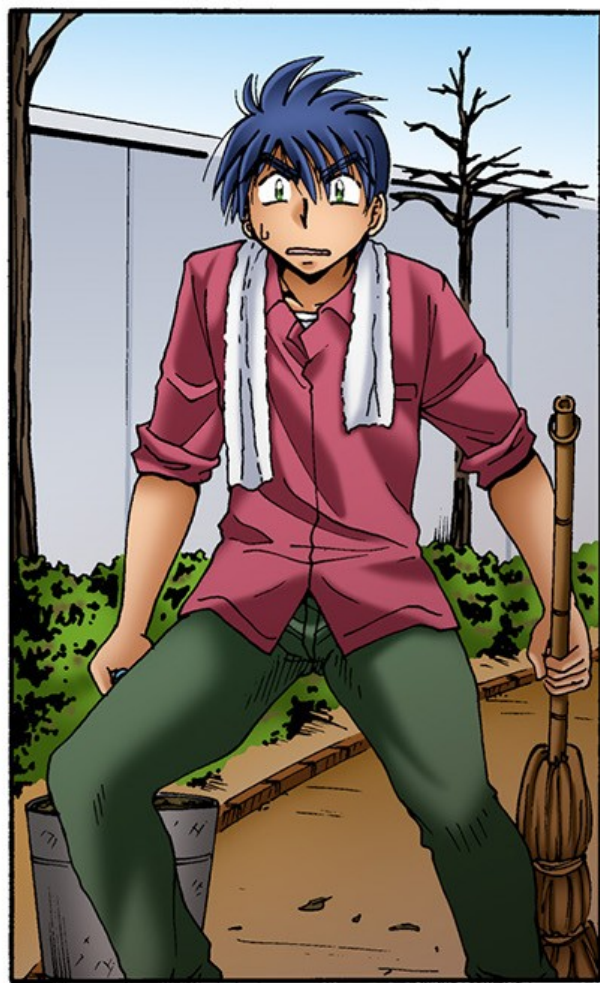
あの...

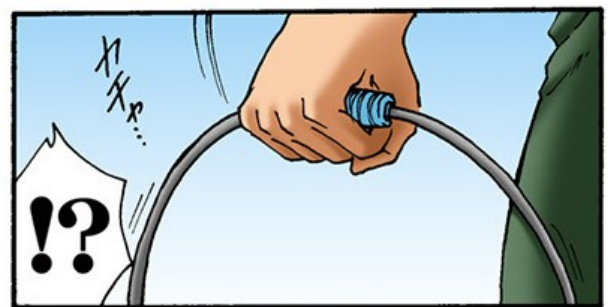
見たいなら
私のを
いくらでも...

!?

ドキドキ

あ
あ











初体験 イケない♡

第61話

お

やま

やす

なが

尾

山

泰

永



女の人が…誰かに
襲われてる…!?!
そんな…まさか…



ちよっ…アレって
もしかして…!?!



えっ…!?!
こつちを見てる!?!



ああッ…!?!
やっぱりアレ…変質者っ
通報しなきゃ…



変質者の顔は
見てるのに
何でエ!?!

…って事が昨日あってさ
一応通報はしたんだけど
ちゃんと相手に
してもらえなくて



でも…気付かれたら
どうしよう!?!

こんなに離れて
気付くはず
ないよね!?!

それが
被害届けが出てない
みたいで…

でも変質者が
気付いてたら
恐いね

変質者が天海そらみの
事を追っかけて
きたりして！

恐い事
言わないでよオツ



冗談だよオ
遠くのペランダなんか
見えっこないってば！

他人事ひとごとだと思つてエ…つ
また怖くなつてきた
じゃんつ！

じゃあ天海
気をつけてね！

もオ~~~~つ
愛優あゆみつてばあ！



ああ〜つすつかり
暗くなつちやつ
たしいつ

今日は近道して
帰ろつと…

まさか本当に
変質者が私に
気付いてるなんて
思わないけど…

ああ〜つつ!!
暗いから
すつかり
迷つちやつた
よオ

ねエ…キミ
天海ちゃん
だよね?

あツ…!!?
あの変質者…ツ

ククク…

えつ…!!?
だ…誰ですか!?

イケないなア…女の子が
こんな遅くに一人で
歩いてちやあ…

やっぱり私の顔を
見てたんだな…
つけて正解だったよ

ど…どうして
私が見てたって
…んツ



だからキミをつけて
私の顔を見たのか
確認しに来たのさ…

ブルッ
ブルッ
ブルッ

私をどうする
つもりなのオ!?



あッ

光った建物は
すぐにわかった
からね

はぁッ
はぁッ



キミはあの建物じゃ
望遠鏡で覗きを
してるので有名だよ

はあッ
そんなアッ

判ッ

ブルッ
ブルッ



なあにちよつと
キミの恥ずかしい
写真を撮らせて
もらうだけさ

ああッ
写真なんて
やだあッ
はああッ

ブルッ
ブルッ



ムダさ…この辺は
空き家が多い
からね…

お…大声
出してやる
からねッ

ラッキーだったよ
キミがこんな所に
来てくれて

そんな
あッ



だめへエッ
顔は写しちや
イヤああッ

まずは顔と一緒に
股間のアップを
撮らせて
もらうかな!

あッ



ネットで
あつという間に
拡散してキミは
有名人だぞ…んッ

そんなので
有名になりたく
ないよオッ

やあッ



この写真は今でもスグ
スマホで投稿できる
んだからね! んッ…

はあんッ

私の言う事をちゃんと聞けばそんな事は起こらないからねエ

だ…だから被害届けが出てなかったのね…なんて非道い奴なの…

わかったらさっさと私のを啜えるんだな!



んっ

ククク…物分かりがいい娘だ…んっ気持ちいいぞオ

んっ…何か…苦あいつんっ…腰振つちやああッ

口の中に出すからなッそのまましてろオッんふウッ~~~~ッ

んぐウんっ

んっ…ふうッ何か出てるウッ

ちゅっ
ちゅっ

出るぞオツ
全部
飲めイツ!!

うえつ…えつ…
苦あいつ…ツ

ほおらダメじゃないか
全部飲まないとおつ

んぐツ

口から
こぼしちや
ダメだぞオつ…
んん…?

は…はひつ…
全部飲み
まふウウ…

んツ

よオ〜〜しつ
ご褒美に
気持ち良くなる
オイルを塗って
やるよ

はあツ…あツ
何コレエツ
あ…熱ウいつ

ぬんん

あッ

アソコが熱くなって
敏感になってる
だろう

はあッ

だめエエッ
感じすぎイッ
あッ

まだ入り口に
私を押し当てた
だけだぞ
んッ…

ぐわんぐわん

ほおれ中に
入ってくぞオッ
んんっ♡

ぐん

はあッ…あッ
入ってくるウッ
らめエッ

おほオッ
全部入った
なアッ

あッ…
ああッ…

ぐわんぐわん
ぐわんぐわん

何コレエッ
中まで熱ウいっ
おかしくなりそオッ

びんびん

びんびん



